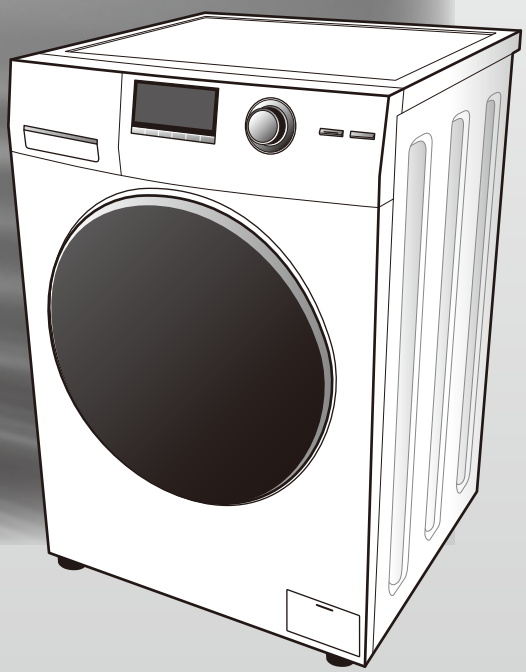
取扱説明書

AQUA

ドラム式電気洗濯機 家庭用

品番 AQW-FV800E



このたびは、ドラム式電気洗濯機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受け取りの
うえ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

http://aqua-has.com/support/reg/

もくじ

ご使用の前に

環境に配慮した使いかた …… 3
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について …… 3
安全上のご注意 (必ずお守りください) …… 4
各部のなまえ / 付属品 …… 7
操作パネル部のはたらき …… 8
洗濯の前に …… 10
コースの選びかた …… 12
コース内容と所要時間 …… 14
洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 …… 16
洗剤の入れかた …… 18
ドアの開閉とロック …… 19
チャイルドロック …… 19

使いかた

洗濯する …… 20
(標準) (やさしく) (ゆったり) (すすぎ 1 回) (おいそぎ) (念入り) (しっかりすすぎ)
お湯で洗う (お湯洗い) …… 22
自分流の運転内容を記憶させる (自分流) …… 23
ダウンジャケットを洗う (ダウン) …… 24
泥んこ衣類を洗う (泥んこ予洗い) …… 25
脱水のみをする (脱水のみ) …… 25
デリケートな衣類を洗濯する (ドライ) …… 26
ふとん・毛布を洗濯する (ふとん・毛布) …… 28
コースの運転内容を変更する【お好み設定】…… 30
予約運転をする …… 32

必要なとき

こんなとき …… 33
■ 終了ブザー音と操作音を消したい ■ 運転途中で変更したい
■ 洗剤投入の待ち時間（約 1 分間）をカットしたい
■ 運転後、小物衣類が見当たらない ■ のりづけしたい
■ 黒ずみ、黄ばみ、異臭をなくしたい ■ 凍結の恐れがある
お手入れ …… 35
■ 洗剤投入容器 ■ 排水フィルター
■ 本体 ■ 給水口 ■ ドアパッキン ■ 排水口
■ ドラム (槽洗浄) …… 37
据え付け …… 38
こんな表示がでたら …… 47
故障かな？ …… 48
別売部品 …… 50
保証とアフターサービス …… 51
仕様 …… 51

環境に配慮した使いかた

■まとめ洗いをする

洗濯回数が減ります。

本製品は待機時消費電力（電源を「切」にした状態の電力）が、0（ゼロ）になっています。

■軽い汚れ※の場合、洗剤量を控えめにする

※軽い汚れとは、脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れのことです。

■洗剤を入れすぎない

標準コース・給水量毎分7L、容量8kgの場合で比較しています。

■すすぎ1回コースで洗濯する ➡P20~21

約16L節水できます。

本製品は洗濯量に応じて水量を自動設定します。
洗濯物を入れ、スタートすると布量センサーがはたらき、適切な水量を設定します。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〈本体への表示内容〉

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の表示を本体に行っています。

〈設計上の標準使用期間とは〉

- 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

〈経年劣化とは〉

長期間にわたる使用や放置にともない生ずる劣化をいいます。

●設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、7年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

【製造年】（本体に西暦４桁で表示してあります）

⚠ **【設計上の標準使用期間】7年**
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

■標準的な使用条件：JIS C 9921-4 による

区分	項　目	条　件
環境条件	電　圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温　度	20℃
	湿　度	65%
	設置条件	P38 ～ P46 の記載内容による標準設置
負荷条件	負　荷	8.0kg
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03 ～ 0.8MPa
	給湯・給水	20℃± 15℃
使用時間及び回数	1 日の平均使用回数	1.5 回
	1 回の使用時間	39 分
	1 年間の使用日数	365 日
	1 年間の使用回数	1.5 回× 365 日= 547.5 回 / 年

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、
必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	死亡や重傷を負うことが想定される内容です。
⚠注意	傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。

⃠	してはいけない「禁止」内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告

本体／ドラム

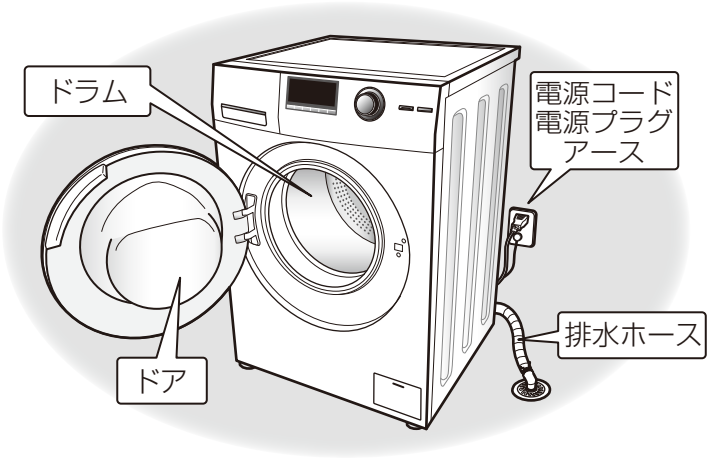
⃠
- **子供をドラム内に入らせない**
  （ドラム内に閉じ込められて窒息したり、やけど、感電、けが、おぼれる原因）
- **子供にはドラムをのぞかせない**
  本体の近くに台などを置かない
  子供など不慣れなかただけで使わせない
  （けが、やけどの原因）
- **回転中のドラムに手などを入れない**
  完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。ゆるい回転でも洗濯物が手に巻き付くことがあります。
  （けがの原因）
  特に子供には注意してください
- **絶対に分解・修理・改造はしない**
  （火災・感電・けが・水もれの原因）
  修理はお買い上げの販売店、または当社修理相談窓口にお問い合わせください。➡P52
- **お手入れなどで、本体各部に直接水をかけない**
  （感電・漏電火災の原因）
- **火気を近付けない**
  ローソク、タバコ、蚊取り線香など
  （火災・変形の原因）
- **引火物や、引火物の付着した洗濯物をドラムに入れたり近付けたり、絶対にしない**
  引火物：灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなど引火性のあるもの
  （爆発・火災の原因）

❗
- **動かない・煙が出た・変な臭いや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する**
  （感電・漏電・ショートによる火災の原因）

電源プラグ・コード

⃠
- **電源プラグや電源コードが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
  （感電・ショート・発火の原因）
- **傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない**
  （破損による火災・感電の原因）
- **ぬれた手で抜き差ししない**
  （感電の原因）
- **延長コードは使用しない**
  （火災・感電の原因）
- **テーブルタップによるタコ足配線はしない**
  （火災・感電の原因）

❗
- **定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**
  電源プラグは根元まで確実に差し込む
  （火災・感電の原因）
- **定期的に電源プラグのほこりなどを乾いた布で拭き取る**
  （ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因）
- **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たず電源プラグを持って抜く**
  （感電・ショート・発火の原因）
- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**
  （感電・けがの原因）
- **長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから必ず抜く**
  （絶縁劣化による感電・漏電火災の原因）



⚠ 警　告

据え付け

- **浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない**
  （感電・漏電火災の原因）

- **アースを取り付ける**
  （故障・漏電による感電の原因）
  アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。工事費は本体価格には含まれません。

ドア

- **ロックしているドアを無理に開けない**
  （ドア・ロック機構の破損、けがの原因）
- **ドアにぶらさがらない**
  （破損によるけがの原因）

⚠ 注　意

据え付け

- **直射日光のあたる場所には置かない**
  （プラスチック部品の変色や変形の原因）
- **冬期に凍結の恐れのある場所には置かない**

給　水

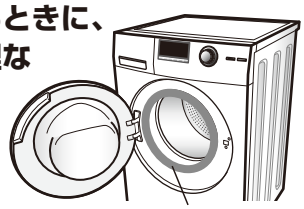
- **50℃以上のお湯は使わない給湯器とつながない**
  （感電・漏電の原因）
- **さび・砂鉄の含まれる水は使わない**
  （井戸水・さびた給水管などの使用は水もれ・故障の原因）

本　体

- **本体の上にのぼったり、物を置いたりしない**
  （変形・破損によるけがの原因）

運転前後

- **衣類を出し入れするときに、ドアパッキンに無理な力を加えない**
  （水もれの原因）



- **使用前にドアパッキン表面に糸くずなどの異物が付着していないか確認する**
  （水もれの原因）
- **運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する**
  （水もれの原因）
- **運転終了後は、水栓を必ず閉じる**
  （水もれの原因）

ドア

- **ドア取り付け金具近くに手を置いたままドアを開閉しない**
  （手や指をはさむことによるけがの原因）

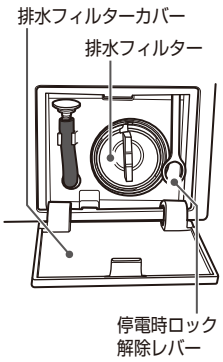
安全上のご注意（つづき）

必ずお守りください

⚠ 注　意

排水フィルターカバー・排水フィルター 停電時ロック解除レバー

- **運転中、排水フィルターカバー・排水フィルターを開けたり、停電時ロック解除レバーに触ったりしない**
  （故障・水もれの原因）
- **ドラム内に残水がある時は排水フィルターを開けたり、停電時ロック解除レバーに触ったりしない**
  （多量の水が出る原因）



- **排水フィルターは、運転前に必ずしっかり締める**
  （水もれの原因）
- **お掃除のとき以外は、排水フィルターを必ず付けておく**
  （水もれの原因）

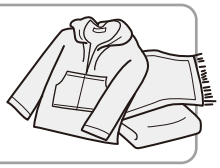
洗濯物

- **防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水をしない**
  （脱水中にドアが開く、異常振動によるけが、本体・壁・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因）

例　足拭きマットなど固くて厚いもの、寝袋、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、カーペット、スキーウェア、ウインドブレーカー、自転車・バイク・自動車のカバー、防水シートなど、その他、防水性の水を通しにくいもの

■防水性衣類の確認方法

衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。

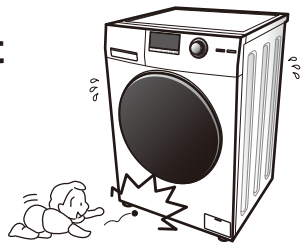


洗剤・漂白剤

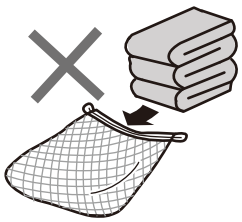
- **粉石けんや重曹、塩素系漂白剤は使わない**
  （故障、詰まって水もれの原因、衣類変色の原因）

運転中

- **運転中、本体の下に手足を入れない**
  （けがの原因）

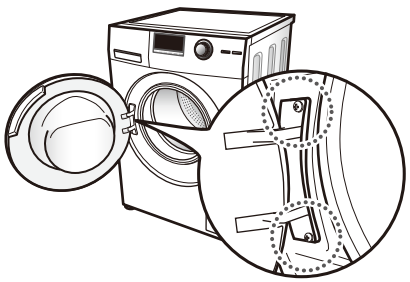


- **ドアに衣類がはさまったまま運転しない**
  （水もれ・破損の原因）
- **「洗剤投入容器」をはずしたまま運転しない**
  （水もれの原因）
- **毛布・ふとん洗い時に洗濯ネットを使わない**
  （異常振動で壁などの破損・けがの原因）



廃　棄

- **廃棄処分時は、ドアを取りはずす**
  （子供が中に閉じ込められる原因）

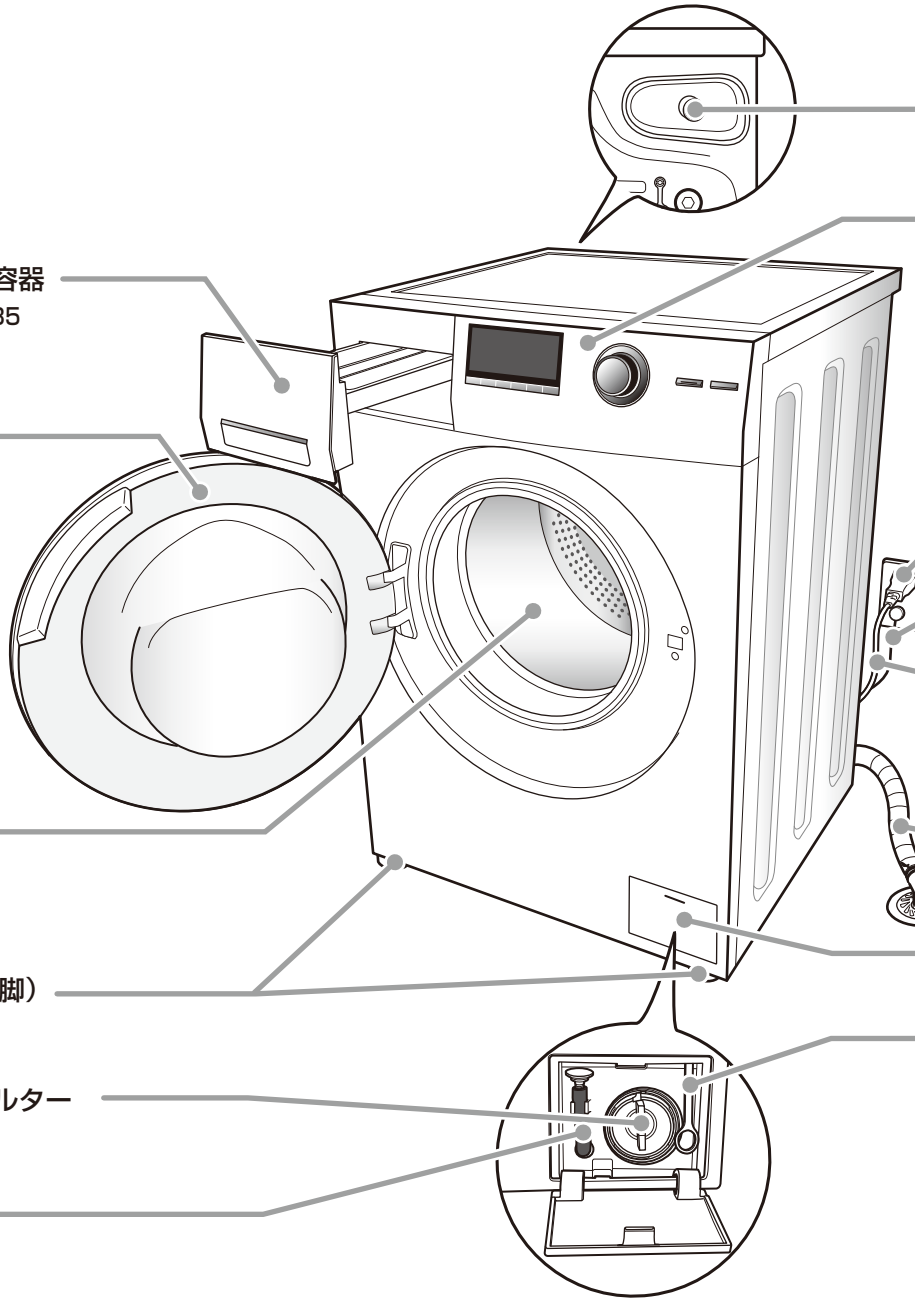


ネジ2本をはずす

お願い

- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから早めに抜いてください。落雷により故障することがあります。

各部のなまえ / 付属品



給水口
➡P43

操作パネル
➡P8~9

洗剤投入容器
➡P18・35

ドア
➡P19

電源プラグ

アース線
➡P44

電源コード
電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみ込まない。

ドラム
➡P37

排水ホース
(付属品)

排水フィルターカバー

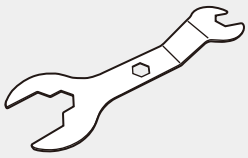
調整足(2脚)
➡P44

停電時ドアロック解除レバー
➡P49
運転中や、ドラム内に残水がある時は、絶対に触らない。

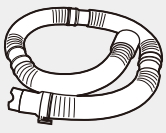
排水フィルター
➡P35

排水管
➡P35

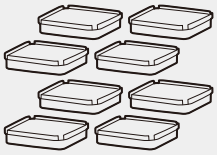
付属品



スパナ
(1個)
➡P38・44

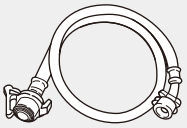


排水ホース
(1本・長さ約100cm)
➡P40~41



高さ調整脚
(8個)
➡P40~41

マジックつぎ手
(1個)
➡P42



給水ホース
(1本・長さ約150cm)
➡P43

操作パネル部のはたらき

残時間・予約時間などの表示

残時間

- 運転中は、残り時間を表示します。

（例）
残り2時間20分の場合

予約時間 ➡P32

- 予約中は、何時間後に運転が終了するかを表示します。

（例）
2時間後に運転が終了する場合

洗剤量表示

- スタート後、洗剤量の目安を表示します。

（例）
「標準」コース、洗濯量6kg の場合

脱水回転数

- 「脱水回転」にタッチするとドラムの回転数を表示します。

（例）
1,000回転の場合

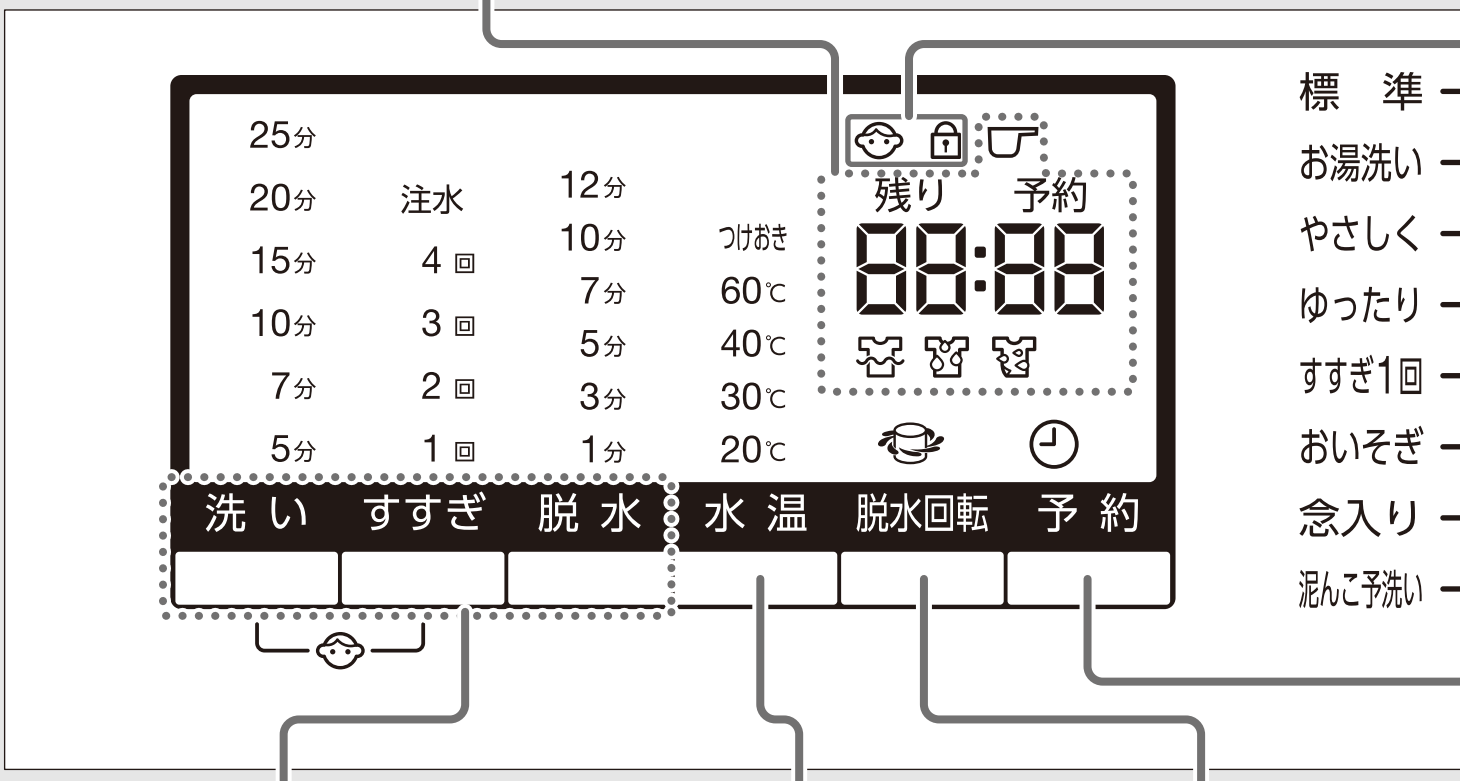
お知らせ表示 ➡P47

- 異常が発生したときに、点滅とブザーでお知らせします。

（例）
給水しない場合

行程表示

- 運転中の行程を点滅、残りの行程を点灯でお知らせします。



洗い・すすぎ・脱水

- お好みの設定に変更するときに ➡P30
  - 「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に組み合わせるとき
  - 時間・すすぎ回数や方法などの内容を変更するとき

水温

- 水温を上げて洗濯するときに

「お湯洗い」➡P22
「自分流」➡P23
「槽洗浄」➡P37
コースで選べます。

脱水回転

- お好みの回転数に変更するときに ➡P20

コースによって変更できる範囲が異なります。

ドアロック

➡P19

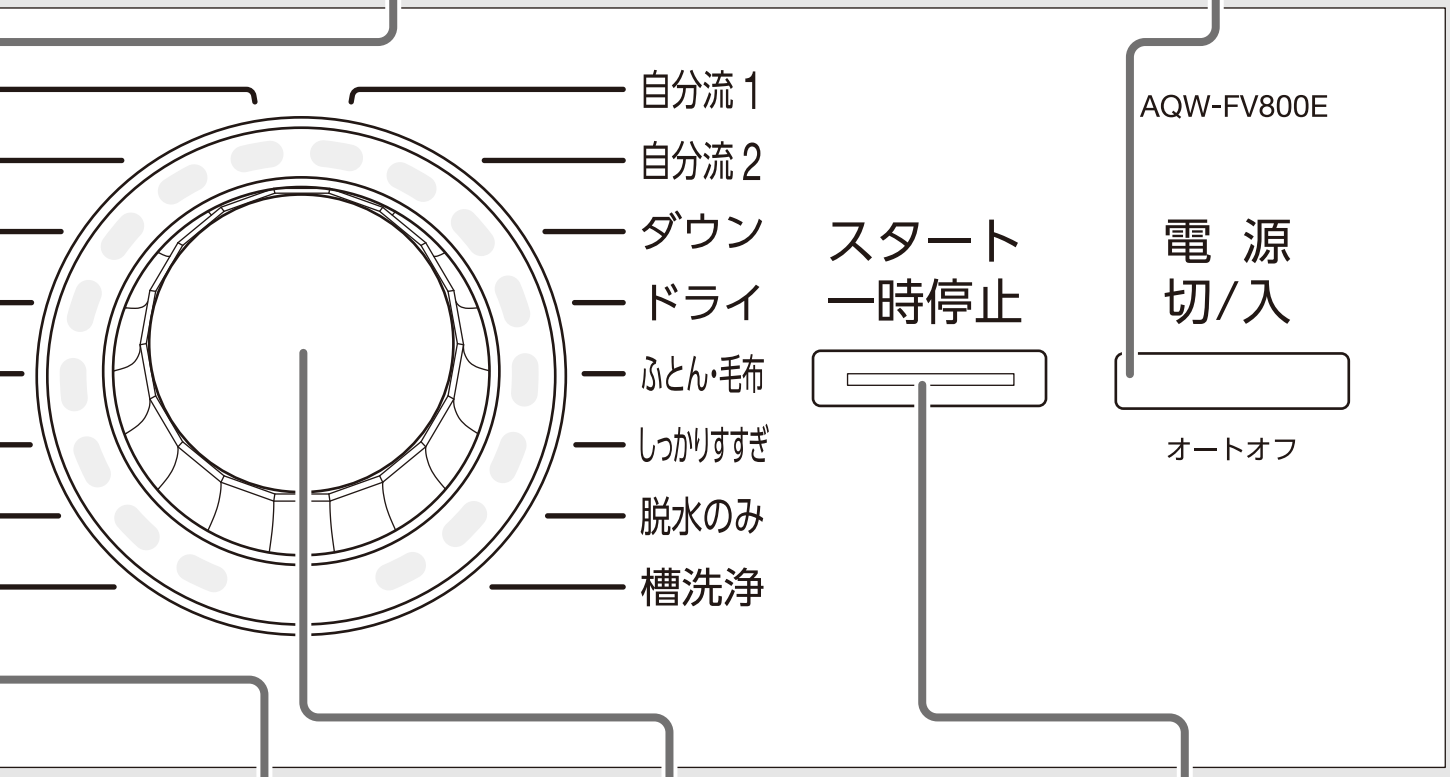
- 点灯中 … ドアはロックされ開きません。
- 点滅中 … ロック解除中です。
- 消灯中 … ドアを開けることができます。

チャイルドロック

- 子供のいたずらや事故防止に ➡P19
  ドアをロックし、電源の「入」「切」とチャイルドロック解除以外の操作をできなくします。

電源「切」／「入」

- 電源の「入」「切」に
  電源を入れると記憶しているコース内容が点灯します。 記憶機能 ➡P13
- オートオフ機能 (自動的に電源が切れます)
  運転が終了したとき…… 約2分後
  スタートさせずに放置したとき
  …… 約10分後



予約

- 予約運転をするときに ➡P32
  今から何時間後に運転を終了するか設定します。

ダイヤル

- コースの選択をするときに
  左右に回して使います。
  選んだコースのランプが点灯します。

スタート／一時停止

- スタートするときに
  スタート前と一時停止中はランプが点滅します。
- 一時停止するときに
  再び押すと運転を再開します。
- 運転中、ドアを開けたいときに ➡P19
  水位・水温が高いとき、ドアは開けられません。

洗濯の前に

本体の準備

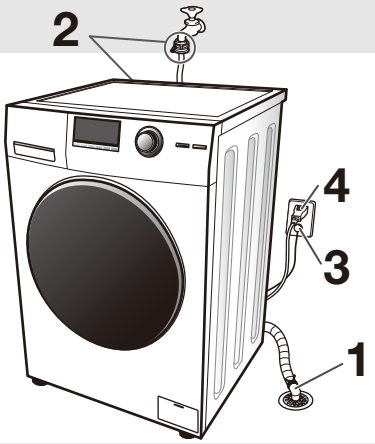
1 排水ホースを排水口に差し込む
- 排水ホースの抜けがないか確認してください。

2 給水ホースをつなぎ、水栓を開ける
- マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから、水もれがないか確認してください。

3 アースを取り付ける

4 電源プラグをコンセントに差し込む

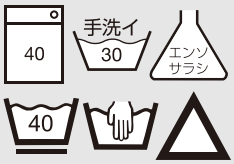
■詳しくは、「**据え付け**」をお読みください。
➡P38~46



洗濯物の準備

洗濯物を確認する

衣類の取扱い表示に従う



髪の毛・ペットの毛は落とす

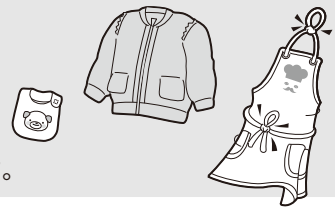
- 本体の故障を防ぐためです。

飾りのある衣類、起毛素材の衣類は裏返して洗う

- 衣類の傷み、毛玉を防ぐためです。

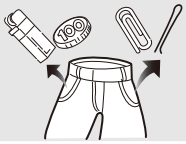
ひもは結ぶ
ボタン・面ファスナーは留める
ファスナーは閉める

- 衣類や本体を傷める原因になります。



ポケットの中に何も入っていないことを確認する
カーテンフック、ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り除く

- 排水経路に詰まり故障の原因、異常音の原因、衣類や本体を傷める原因になります。



衣類の 取扱い表示（例）

2016年12月に、衣類の「取扱い表示」が変わりました。本取扱説明書では新旧併記しています。

旧表示 ▶ 新表示	
	洗濯機で洗濯ができる
	手洗いができる
	洗濯できない
	塩素系および酸素系の漂白剤による漂白ができる
	酸素系漂白剤による漂白はできるが、塩素系漂白剤による漂白はできない
	漂白処理はできない

汚れがひどいものは前処理をする

しみ汚れ

- 酸素系液体漂白剤や専用洗剤などを塗る
- 食べ物のしみの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く

- 飲料水・化粧水が付着した衣類は長時間放置せず、すぐに洗い流す
（ピンク色に変色する原因）

えり・そで汚れ

- そで口・えりなどの汚れは、専用洗剤を塗る
- または、石けんや洗剤液をつけて、やさしくブラッシングする

泥や砂汚れ

- 石けんや専用洗剤をつけてもみ洗いをする
- ブラシなどで落とす
（本体の故障を防ぐため）

洗濯物を仕分ける

新しい色柄物・色落ちしやすいもの ➡ 分け洗いする

■色落ち確認方法
洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する

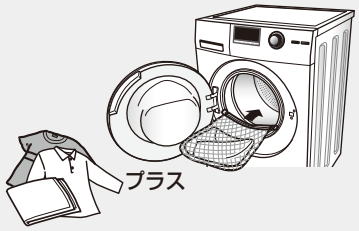
糸くずの付着が気になる衣類

➡
- タオル・バスタオルとは、分けて洗う
- 市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う
- 裏返して洗う

デリケートな衣類を守る
洗濯ネット利用上のご注意

ポイント1

洗濯物をドラムに入れるとき、洗濯ネットを先に入れる



ポイント2

洗濯ネットに入れた衣類の量以上の衣類を一緒に入れる

ポイント3

洗濯ネット内に入れる量はできるだけ少なく

脱水時にバランスを取るために衣類を入れてください。また、洗濯ネットに入れる衣類の量を少なくしてください。バランスが取れないと脱水できない場合があります。

ご注意

- ふだんの衣類やたくさんの衣類を洗濯ネットに入れると、バランスが取れず脱水できない場合があります。
- 少量の衣類でも洗濯ネットに入れた場合は、脱水時にバランスを取るために、洗濯ネットに入れた衣類の量以上の衣類を一緒に入れてください。
- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは、使わないでください。

デリケートな小物類は、洗濯ネットに入れて洗濯できます。

洗濯ネットに入れられるもの

■小物衣類

（赤ちゃんのくつ下、ハンカチなど）

●軽い衣類は、洗濯中にドア付近に集まり、洗いや脱水が十分できないことがあります。

■傷みやすい衣類

（レースのついた衣類、ランジェリー、ナイロンストッキング、化繊のうす物 など）

➡「ドライ」コース ➡P26 で洗う

■ワイヤー入りのブラジャー

➡必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れる

●ワイヤーが飛び出し、本体や他の洗濯物を傷める原因になります。

洗濯ネットに入れられないもの

■大きなもの

（毛布、ふとん、ジーンズ、バスタオル など）

●脱水時に異常振動が発生したり、バランスが取れずに脱水できない場合があります。

洗濯物の重さの目安

コースによって洗濯容量が異なります。下表を参考にして洗濯容量を超えないようご注意ください。

約50g	くつ下（混紡）	ブリーフ（綿 100%）
約110g	半袖肌着（綿 100%）	
約200g	ワイシャツ（混紡）	ブラウス（混紡）
約300g	セーター（混紡）	バスタオル（綿 100%）
約500g	パジャマ上・下（綿 100%）	
約600g	ジーンズ（綿 100%）	
約800g	作業服上・下（混紡）	

洗濯できないもの

ドライ/石油系表示のあるもの （ドライ セキユ系） Ⓕ Ⓕ

皮革、絹製品

ふとんや敷物では…

- 純毛の毛布、電気毛布、カーペットカバー
- ロングパイル(毛足1cm以上)の毛布
- マット類などの厚手のもの
- ペットの毛が付着したもの
- 1kgを超えるふとん

ざぶとんや小物類では…

- ざぶとんや枕などわたやスポンジ類が入った製品
- 固い芯材が入った帽子

和服、和装小物

ゴム、ナイロン、ビニール製品

市販の洗濯補助具

- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネット・洗濯ボール・ゴミ取りフィルター など

お知らせ

- **厚手のものや、かさばるものは、1枚だけで入れないでください。**

（ジーンズ、バスローブ、トイレマット 木綿の厚手のトレーナーなど）

洗濯物が片寄って脱水時に振動が大きくなり、「U3」を表示し、運転が止まる場合があります。

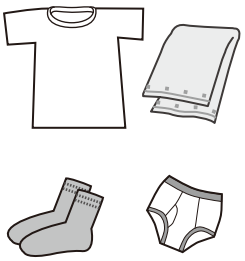
➡バランスをとりやすくするため、ぬれたバスタオルなど、厚手の衣類を2〜3枚追加してください。

- **洗濯後、小物衣類が見当たらない場合は、ドアパッキンの下を確認してください。**

➡P33

コースの選びかた

洗濯物の種類や汚れにあわせてコースを選んでください。

洗濯物の種類	こんなときに	コース	洗濯容量
普段の衣類 Tシャツ、タオル類、パジャマ、くつ下、ワイシャツ、下着、ズボンなど 	普段の洗濯を経済的に	標準 ➡P20	8.0kg 以下 （「お湯洗い」コース ・40℃つけおき ・60℃ 2.0kg以下）
	衣類や汚れの種類に応じて洗いの水温が選べます	お湯洗い ➡P22	
	表示のある衣類に	やさしく ➡P20	
	多めの水でしっかり洗いたいときに	ゆったり ➡P20	
	軽い汚れを手早く	おいそぎ ➡P20	4.0kg 以下
	がんこな汚れをきれいに	念入り ➡P20	8.0kg 以下
	泥汚れの洗濯物などに予洗いを追加したコース	泥んこ予洗い ➡P25	
	自分流の運転を記憶させる	自分流 1・自分流 2 ➡P23	
	しっかりすすぎたいときに	しっかりすすぎ ➡P20	
	超濃縮液体洗剤※使用時に	すすぎ 1 回 ➡P20	
	手洗いした衣類などを脱水のみしたいときに	脱水のみ ➡P25	
ダウンジャケットなど	表示のあるダウンジャケットなどに	ダウン ➡P24	2.0kg 以下
デリケートな衣類 セーター、カーディガン、ランジェリー類、スカート、ブラウス、学生服、スラックスなど	表示のある衣類、ウールのセーター、シルク製品などのデリケートな衣類に	ドライ ➡P26	1.5kg 以下
ふとん、毛布、シーツ類など 	表示のあるふとんや毛布、シーツなどの大物に	ふとん・毛布 ➡P28	毛布　4.6kg以下 夏掛けふとん 羽毛掛けふとん 1.0kg以下
ドラムのお手入れ	石けんカスや黒カビの発生が気になったら	槽洗浄 ➡P37	――

コース内容と所要時間 ➡P14～15

使用できる洗剤類	お湯洗い設定	予約
	—	○
	○	○
	—	○
	—	○
	—	○
	—	○
	—	—
	○	○
	—	○
	—	○
	—	—
	—	○
	—	—
	—	○
	○	—

※：超濃縮液体洗剤は、すすぎ１回と表記されている液体洗剤をご使用ください。

記憶機能

運転終了時、運転したコースを自動的に記憶します。

次回 電源切/入 **記憶しているコースのランプが点灯します。**

▼

スタート一時停止 **ワンタッチでスタートができます。**

お知らせ

- スタートせずに電源を切った場合は記憶しません。次回は「標準」コースになります。
- 「洗い」「すすぎ」「脱水」などをタッチして変更した運転内容は記憶しません。
  記憶させたいときは、「自分流」コース ➡P23 をご利用ください。
- 運転途中で停電や電源プラグが抜けた時は運転内容も記憶しています。電源を入れると、続きからスタートします。

洗濯量測定

運転をスタートするとドラムが回転し洗濯量を調べ、水量や洗い方を自動で選びます。

測定するコース

「標準」「やさしく」「ゆったり」
「すすぎ１回」「念入り」
「泥んこ予洗い」「自分流」
「しっかりすすぎ」コース

お知らせ

- 洗濯物がぬれていると洗濯量を多めに判定します。
- はじめからドラムに水が入っている場合、洗濯量測定をしないときがあります。

すすぎ

■**ためすすぎ** … 設定水位まで給水後、水をためてすすぎます。

■**注水すすぎ** … 設定水位まで給水後、注水しながらすすぎます。

コース内容と所要時間

		自動設定の内容				
コース	容量（上限）	洗い（約）	すすぎ	脱水（約）	脱水回転数	所要時間（約）
標準 ➡ P20	8.0kg	12～15分	2回 〔ため〕	4分	800回転	36～39分
お湯洗い ➡ P22	8.0kg 60℃および 40℃つけおきは 2.0kg	15分	注水3回	5分	800回転	1時間34分～ 7時間7分
やさしく ➡ P20	8.0kg	12～15分	2回 〔ため〕	5分	600回転	42～45分
ゆったり ➡ P20	8.0kg	15～18分	2回 〔ため〕	5分	800回転	46～49分
すすぎ1回 ➡ P20	8.0kg	12～15分	1回 〔ため〕	5分	800回転	32～35分
おいそぎ ➡ P20	4.0kg	7分	2回 〔ため〕	3分	800回転	25分
念入り ➡ P20	8.0kg	17～20分	注水3回	5分	800回転	1時間2分～ 1時間5分
泥んこ予洗い ➡ P25	8.0kg	10分（予洗い） ＋ 12～15分（本洗い）	注水3回	5分	800回転	1時間4分～ 1時間7分
自分流1 自分流2 ➡ P23	8.0kg	設定内容による	設定内容による	設定内容による	800回転	設定内容による
ダウン ➡ P24	2.0kg	10分	注水3回	5分	600回転	51分
ドライ ➡ P26	1.5kg	7分	注水2回	5分	400回転	31分
ふとん・毛布 ➡ P28	毛布　:4.6kg 夏掛けふとん 羽毛掛けふとん :1.0kg	20分	注水3回	5分	800回転	1時間5分
しっかりすすぎ ➡ P20	8.0kg	12～15分	注水2回	5分	800回転	45～48分
脱水のみ ➡ P25	8.0kg	――	――	5分	800回転	6分
槽洗浄 ➡ P37	――	25分	注水3回	3分	800回転	12時間～ 12時間20分

お好み設定できる内容

<table>
<tr><th>洗い</th><th>すすぎ</th><th>脱水</th><th>脱水回転数</th><th>お湯洗い設定</th><th>コース</th></tr>
<tr><td rowspan="12">25※1・2
20※1・2
15
10
7
5分
なし〔消灯〕</td><td rowspan="3">注水 4回
4回
注水 3回
3回
注水 2回
2回
注水 1回
1回
なし〔消灯〕</td><td rowspan="12">12※1・2
10※1・2
7※1
5
3
1分
なし〔消灯〕※4</td><td>1,200
1,000
800
600
400 回転</td><td>——</td><td>標準</td></tr>
<tr><td>1,200
1,000
800
600
400 回転</td><td>60℃
40℃ つけおき
40℃
30℃
20℃</td><td>お湯洗い</td></tr>
<tr><td>600
400 回転</td><td>——</td><td>やさしく</td></tr>
<tr><td rowspan="2">注水 1回
1回</td><td rowspan="8">1,200
1,000
800
600
400 回転</td><td>——</td><td>ゆったり</td></tr>
<tr><td>——</td><td>すすぎ 1 回</td></tr>
<tr><td rowspan="8">注水 4回※1
4回※1
注水 3回
3回
注水 2回
2回
注水 1回※3
1回※3
なし〔消灯〕※3</td><td>——</td><td>おいそぎ</td></tr>
<tr><td>——</td><td>念入り</td></tr>
<tr><td>——</td><td>泥んこ予洗い</td></tr>
<tr><td>40℃
30℃
20℃
なし〔消灯〕</td><td>自分流 1
自分流 2</td></tr>
<tr><td>600
400 回転</td><td>——</td><td>ダウン</td></tr>
<tr><td>変更できない</td><td>——</td><td>ドライ</td></tr>
<tr><td>800
600
400 回転</td><td>——</td><td>ふとん・毛布</td></tr>
<tr><td>1,200
1,000
800
600
400 回転</td><td>——</td><td>しっかりすすぎ</td></tr>
<tr><td>——</td><td>——</td><td>——</td><td>——</td><td>脱水のみ</td></tr>
<tr><td colspan="4">槽洗浄は、コース内容を変更できない</td><td>30℃
20℃
なし〔消灯〕</td><td>槽洗浄</td></tr>
</table>

※ 1：「おいそぎ」コースでは設定できません。
※ 2：「ドライ」コースでは設定できません。
※ 3：「しっかりすすぎ」コースでは設定できません。
※ 4：「脱水のみ」コースでは設定できません。

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安

下表の使用量に従って、洗剤投入容器に入れてください。

洗剤の入れかた ➡ P18

	洗濯量（乾燥布）（以下）	洗剤量目安表示（杯）	合成洗剤				
			粉末		超濃縮タイプ	液体洗剤	
			20g/30L	25g/30L	10mL/30L	20mL/30L	25mL/30L
標準 お湯洗い 30℃・20℃ やさしく ゆったり 念入り 泥んこ予洗い 自分流 30℃・20℃ しっかりすすぎ	8kg	0.9	42g	53g	21mL	42mL	53mL
	6kg	0.7	32g	40g	16mL	32mL	40mL
	4kg	0.4	19g	23g	10mL	19mL	23mL
	2kg	0.3	14g	17g	7mL	14mL	17mL
お湯洗い 60℃ 40℃つけおき 40℃ 自分流 40℃	8kg	—	46g	58g	23mL	46mL	58mL
	6kg	—	35g	44g	18mL	35mL	44mL
	4kg	—	21g	25g	11mL	21mL	25mL
	2kg	—	16g	19g	8mL	16mL	19mL
すすぎ１回	8kg	0.9	—	—	21mL	—	—
	6kg	0.7	—	—	16mL	—	—
	4kg	0.4	—	—	10mL	—	—
	2kg	0.3	—	—	7mL	—	—
おいそぎ	4kg	—	19g	23g	10mL	19mL	23mL
	2kg	—	14g	17g	7mL	14mL	17mL
ダウンドライ	ダウン 2kg	—	液体中性洗剤をお使いください			40mL/30L のもの … 20mL 30mL/30L のもの … 15mL	
	ドライ 1.5kg	—					
ふとん・毛布	毛布 4.6kg ふとん 総質量 1kg	—	必ず溶かしてドラムへ ➡ P29 27g	34g	14mL	27mL	34mL

ご注意

- 「お湯洗い」コース（60℃・40℃つけおき）の洗濯容量は2kg以下です。
- 「お湯洗い」コースは洗剤量表示をしません。上記を参考に洗剤を入れてください。
- 「自分流」コース（40℃）では、洗剤量表示にかかわらず、上記を参考に洗剤を入れてください。また、洗剤を多く使用しますので、すすぎは注水3回以上を設定してください。

ご注意

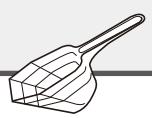
- 超濃縮タイプ以外の洗剤を使うとすすぎが不十分になり、衣類に泡が残ります。

ご注意

- 「おいそぎ」コースは洗剤量表示をしません。上記を参考に洗剤を入れてください。

◆お使いの洗剤に合わせて洗剤量を加減してください。

- 表示の目安は、1杯が約47gの計量スプーンに合わせています。
  洗剤の種類によりスプーン1杯の洗剤量が異なります。



液体石けん	柔軟剤				酸素系液体漂白剤	
36mL / 衣類 3kg	濃縮タイプ 4mL / 衣類 1.5kg	7mL / 衣類 1.5kg	10mL / 衣類 1.5kg	20mL / 衣類 1.5kg	20mL/30L	40mL/30L
50mL	10mL	18mL	26mL	52mL	20mL	40mL
45mL	8mL	14mL	21mL	42mL	15mL	30mL
38mL	7mL	12mL	17mL	34mL	13mL	26mL
32mL	6mL	10mL	14mL	28mL	10mL	20mL
55mL	10mL	18mL	26mL	52mL	20mL	40mL
49mL	8mL	14mL	21mL	42mL	15mL	30mL
42mL	7mL	12mL	17mL	34mL	13mL	26mL
35mL	6mL	10mL	14mL	28mL	10mL	20mL

さい。お湯により大幅にアップした洗浄力で衣類から除去された油汚れなどが衣類に再付着するのを防ぐため

——	10mL	18mL	26mL	52mL	20mL	40mL
——	8mL	14mL	21mL	42mL	15mL	30mL
——	7mL	12mL	17mL	34mL	13mL	26mL
——	6mL	10mL	14mL	28mL	10mL	20mL
38mL	7mL	12mL	17mL	34mL	13mL	26mL
32mL	6mL	10mL	14mL	28mL	10mL	20mL
	4mL	7mL	10mL	20mL	——	——
	5mL	8mL	12mL	24mL	——	——
34mL	8mL	14mL	21mL	42mL	15mL	30mL

お知らせ

- 泡立ちのよい洗剤は、少なめ（8割程度）に入れてください。すすぎが不十分になり衣類に泡が残ります。
- 洗剤は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。
  ・軽い汚れの場合は、洗剤量を控えめにしてください。
  ・洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になり衣類に残ります。
  特に液体洗剤は、軽い汚れでは泡立ちがよくなるのでご注意ください。
- 粉石けんは使用できません。
  （固まりやすく、本体内部に詰まって水漏れの恐れがあります。）

洗剤の入れかた

洗剤と漂白剤は洗いの給水時に、柔軟剤は最終すすぎ時に自動投入されます。
いずれも洗濯前に入れておいてください。

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡ P16~17

■洗剤投入容器を手前に引き出して入れてください。

合成洗剤・漂白剤

液体合成洗剤・液体石けん

**同量の水でうすめ、
よく溶かしてから入れる**

- 泡立ちの少ない洗剤をお使いください。

液体漂白剤

**3倍の水でうすめ、
よく溶かしてから入れる**

- 漂白剤の使用量と使いかたは、お使いの漂白剤容器の表示に従ってください。
- 塩素系液体漂白剤は使わないでください。漂白剤が直接衣類に付くと変色することがあります。

粉末合成洗剤

- 容器がぬれている場合は、拭いてから入れてください。
- 洗剤量の目安表示に従って入れてください。

酸素系粉末漂白剤

- 粉末合成洗剤と一緒に入れてください。
- 漂白剤の使用量と使いかたは、お使いの漂白剤容器の表示に従ってください。

柔軟剤

洗濯前に「洗剤投入容器」に入れる

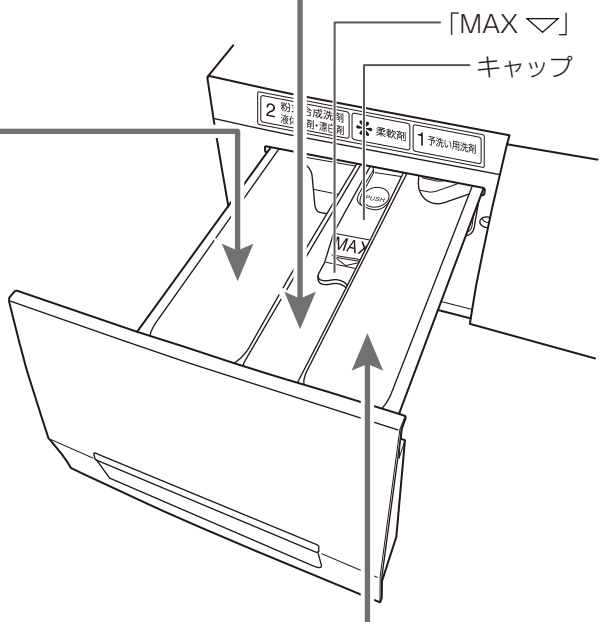
- 洗濯前に入れておくと、最終のすすぎで自動的に投入されます。
- すすぎ回数が1回でも自動的に投入されます。

**濃縮タイプは、
2倍の水でうすめ、
よく混ぜてから入れる**
（固まる恐れ）

- キャップの「MAX▽」位置以上に入れないでください。サイフォン現象により柔軟剤がすぐに流れ出ることがあります。
- 柔軟剤は入れすぎないでください。
（衣類の黒ずみの原因）
- 柔軟剤を入れた後、長時間（12時間以上）放置しないでください。柔軟剤が固まる場合があります。

お知らせ

- サイフォン現象でわずかに水が残ることがありますが、異常ではありません。



予洗い用洗剤

「泥んこ予洗い」コース使用時、予洗い用の洗剤を投入する

- 洗剤量は、予洗い・本洗いとも、それぞれ目安表示の量（同量）を入れてください。

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17

お願い

- こぼれたときは拭き取ってください。

お手入れ 洗剤投入容器 ➡ P35

- 洗剤投入容器は、しっかり閉めてください。
（水もれの原因）

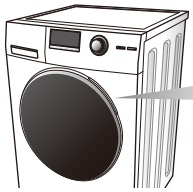
ご注意

- 重曹・粉石けんは使わないでください。
（重曹：故障の原因、粉石けん：固まりやすく、本体内部に詰まり水もれの恐れ）
- ジェルボール型洗剤は、ドラムに直接入れてください。

ドアの開閉とロック

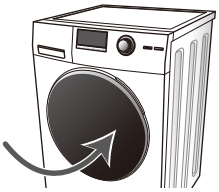
安全のため、スタート後はドアがロックされます。🔒ドアロック点灯中は、開きません。

ドアの開けかた



ドアハンドルを
引いてください。

ドアの閉めかた



ドアの中央右側を押して
確実に閉めてください。

ドアロック中にドアを開けたい

運転中の場合

スタート
一時停止
を押す

電源が入っていないとき

- 運転中に電源を切ったり、停電した場合はロックされたままになります。

電 源
切/入
を押す

「カチッ」と音がして 🔒 ドアロックが消灯したら、ドアを開けてください。

確認

「LoC」を表示した場合はドアは開きません。

■ドラム内の水温が高いとき	電源を切り排水してください。 ➡P31
■ドラム内の水位が高いとき	
■ドラムが回転しているとき	「LoC」が消灯したらドアを開けてください。
■チャイルドロック中 🔒 が点灯 電源を入れたときは、残り時間または「AUto」と「LoC」を交互に表示します。	チャイルドロックを解除してください。 チャイルドロック➡下記

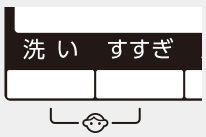
ご注意

- 運転中は泡がこぼれたり、ドアに付着した泡や水が床にたれることがあるため、タオルで受けるなどしてください。

チャイルドロック

子供がドラム内に閉じ込められるのを防ぐため、電源を切った状態でもドアが開かないようにします。

電源「入」の状態で、「洗い」と「すすぎ」を同時に、4秒以上タッチし続ける



- 設定音が鳴り 🔒 が点灯します。
- ドアにロックがかかり、電源の「入」「切」とチャイルドロック解除以外の操作ができなくなります。
- チャイルドロック設定後に運転内容を変更する場合は、チャイルドロックをいったん解除してください。

解除 上記と同じ操作をする

- 解除音が鳴り、解除完了

お知らせ

- 電源を切っても解除するまでドアは開けられません。
- 電源「入」の状態であれば設定／解除はいつでもできます。
- 操作したときに「UL」を表示した場合は、チャイルドロックが設定されています。
- チャイルドロック設定中は、運転内容を記憶しています。運転途中に電源を切っても電源を入れ直すと、続きからスタートします。

洗濯する

標準コース

綿素材の下着など、普段着を洗濯したいときに

やさしくコース

表示の衣類を
布傷みをおさえてやさしく洗濯したいときに

ゆったりコース

多めの水でしっかり洗いたいときに

すすぎ 1 回コース

超濃縮液体洗剤(すすぎ1回と表記されている液体洗剤)を使用するときに

- すすぎ1回で終了するため、時間短縮と節水ができます。

ご注意

- 超濃縮液体洗剤(すすぎ1回と表記液体洗剤)以外を使用した場合、すすぎが不十分になります。

おいそぎコース

軽い汚れの衣類を手早く洗濯したいときに

- 25分で終了します。

念入りコース

がんこな汚れをきれいに洗濯したいときに

- 厚手の洗濯物もしっかり洗います。

しっかりすすぎコース

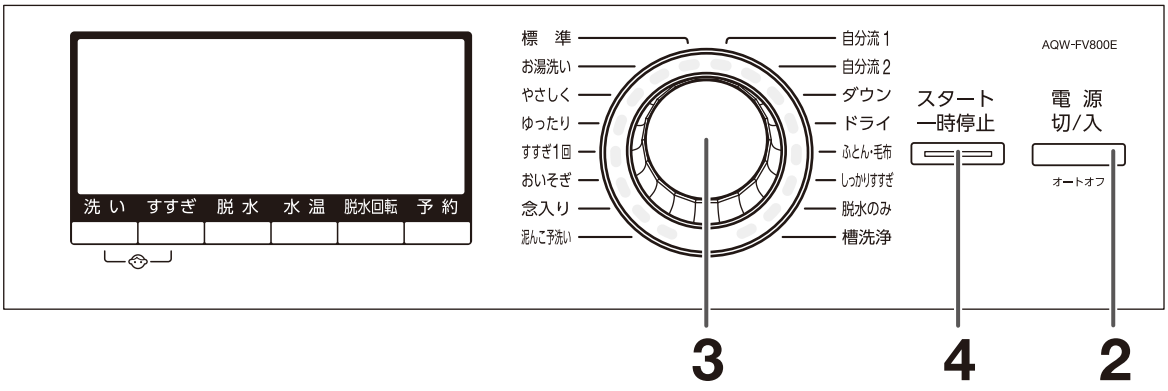
しっかりすすぎたいときに

脱水回転数

お好みに応じて脱水回転数を変更することができます。
コースによって、選べない回転数があります。

コース内容と所要時間 ➡ P14～15

1,200 回転 1,000 回転	ジーンズやタオルなど厚手のもの シワが気にならない衣類の脱水に
800 回転	普段着の脱水に
600 回転 400 回転	ダウンジャケットなど 型くずれやシワをおさえたい衣類の脱水に



洗濯容量

8.0 kg以下

おいそぎコースのみ 4.0 kg以下

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、コースを選ぶ

- 「おいそぎ」コースは、洗濯量測定をしません。
  スタート前に洗剤を入れてください。

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17

必要に応じ、脱水回転数を設定してください。

「脱水回転」にタッチし、お好みの脱水回転数を選ぶ

- コースによって選べない脱水回転数があります。

コース内容と所要時間 ➡P14~15

4 スタート 一時停止 スタートする

- 洗濯量測定後、洗剤量の目安を表示します。

5 洗剤量表示中(約1分間)に洗剤を洗剤投入容器に入れる

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17
洗剤の入れかた ➡P18

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じてください。

洗剤量表示中(約1分間)に洗剤をケースに入れられなかった場合

1 スタート 一時停止 を押して、🔒(ドアロック)が消灯したら、ドアを開ける

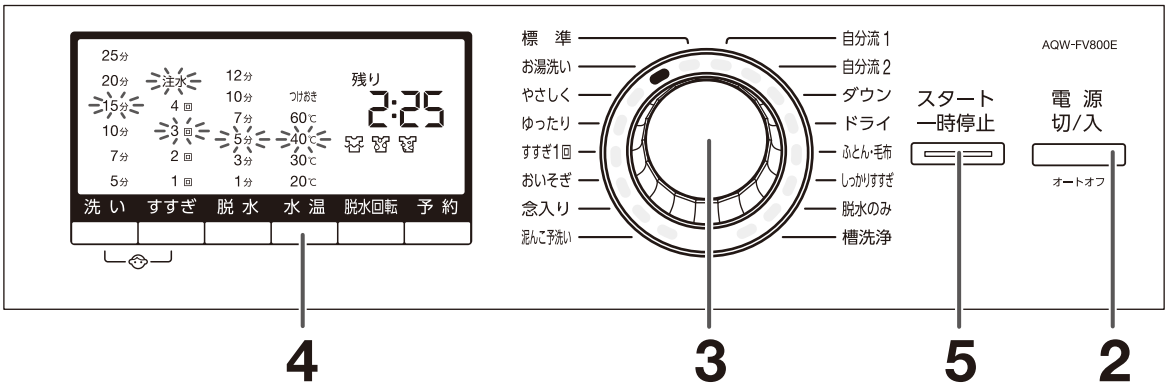
2 洗剤などはドラム内に直接入れ、柔軟剤は洗剤投入容器に入れる

3 ドアを閉め、スタート 一時停止 を押す
- 運転を再開します。

お湯で洗う

お湯洗いコース

衣類や汚れに応じて、水温を選ぶことができます。
衣類の取扱い表示をご確認のうえ、水温を選んでください。



洗濯容量	
60℃ 40℃つけおき	2.0 kg以下
40℃ 30℃ 20℃	8.0 kg以下

ご注意

- 水温「60℃」で洗えないもの
  - 色柄物
  - プリントがついているもの
  - 芯地のあるもの
  - ゴム素材を使用した伸縮性のあるもの
- 水温「40℃」「40℃つけおき」では、色柄物と白物衣類を分けて洗ってください。
- 衣類の取扱い表示を確認し、上限を越える温度では洗わないでください。

お知らせ

- 加熱運転中は約1分ごとにドラムを回転します。

■除菌について（水温 60℃のとき）

試験依頼先	(一財)日本食品分析センター
試験方法	菌液付着試験布の生菌数測定
除菌方法	加熱高温水による
除菌部分	ドラム内の衣類
試験結果	(菌の減少率)99.0%以上

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

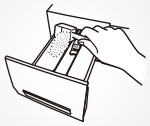
2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、「お湯洗い」を選ぶ

4 お好みの水温を設定する

必要に応じ、脱水回転数を設定してください。

5 洗剤を洗剤投入容器に入れる



洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17
洗剤の入れかた ➡P18

6 スタート 一時停止 スタートする

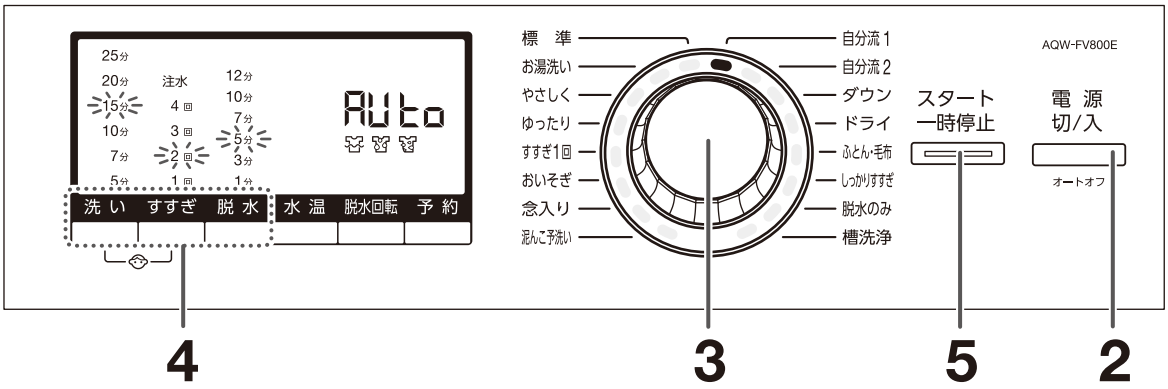
ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じてください。

		所要時間（約）
60℃	白色肌着(綿素材など)の除菌に	3時間　2分
40℃つけおき	黄ばんでしまった肌着に	7時間　7分
40℃	皮脂汚れ、臭いが気になる衣類に	2時間25分
30℃	汚れをしっかり落としたい、普段の洗濯に	1時間36分
20℃	冬場の洗濯に	1時間34分

自分流の運転内容を記憶させる

自分流コース

お好みの運転内容を記憶させることができます。
次からは「自分流」を選ぶと前回設定した運転内容で運転することができます。
「予約」は記憶しません。



洗濯容量 8.0 kg以下

購入時の設定

洗　い ……15分
すすぎ ……〔ため〕2回
脱　水 …… 5分

お知らせ

- 洗い時間、すすぎ回数･方法、脱水時間、水温は運転開始から30秒後に記憶します。
- 水温は「20℃」「30℃」「40℃」が選べます。
- 衣類の取扱い表示を確認し、上限を越える温度では洗わないでください。
- 水温「40℃」では、
  - 洗剤量表示に関わらず、**洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安** ➡ P16～17を参考に洗剤を入れてください。
  - 「すすぎ」に、注水3回以上を設定してください。

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、「自分流1」または「自分流2」を選ぶ

- 記憶内容を表示します。変更がなければ **5** へ

4 お好みの時間、すすぎ回数・方法を設定する

お好み設定 ➡P30

必要に応じ、洗い時の水温、脱水回転数を設定してください。

5 スタート 一時停止 スタートする

- 洗濯量測定後、洗剤量の目安を表示します。

6 洗剤量表示中(約1分間)に洗剤を洗剤投入容器に入れる

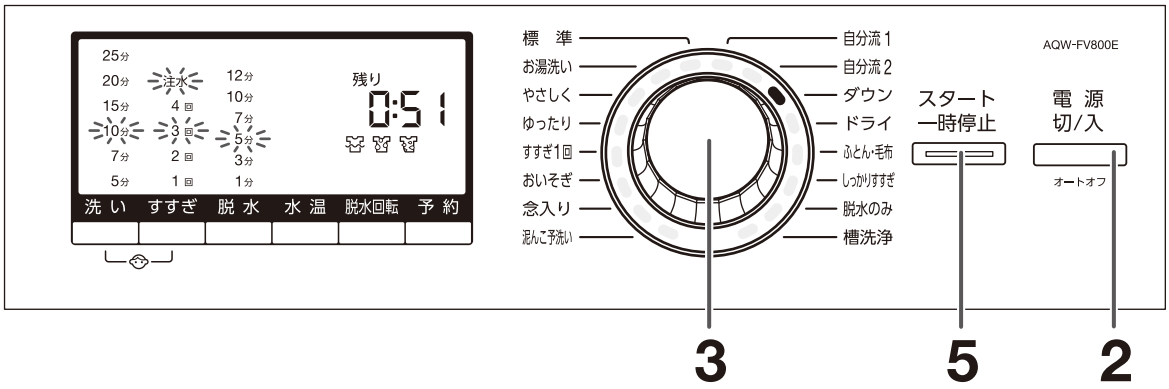
洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16～17
洗剤の入れかた ➡P18

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じてください。

ダウンジャケットを洗う

ダウンコース

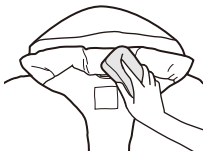
表示のダウンジャケット、
コートをネットに入れて洗うコースです。
はっ水加工されたものは、洗濯できません。



洗濯容量	2.0 kg 以下

洗濯前のチェック

- **部分汚れがないか確かめる**
  そで口・えりの汚れは、中性洗剤液を含ませたスポンジで軽くたたいて洗剤をしみ込ませます。



- **ファーは はずす**
  フードについているファーは水洗いできません。必ず取りはずしてください。
- **ボタンは留める**
- **ファスナーは閉める**

準備 ダウンジャケットを1着づつネットに入れる 1着の場合はネットに入れ、バスタオルでくるむ

- ダウンは空気を含みやすいため水に浮きやすく、しっかりと洗うことができません。1着の場合は浮き防止のためバスタオルでくるんでください。

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、「ダウン」を選ぶ

必要に応じ、脱水回転数を設定してください。

4 おしゃれ着用 液体中性洗剤を洗剤投入容器に入れる

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17
洗剤の入れかた ➡P18

5 スタート 一時停止 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じてください。

干しかたのポイント

- アームが長く太めのハンガーをご使用ください。
- 風通しの良い場所で2~3日陰干ししてください。
- ある程度乾いたら、軽くたたいて形を整えてください。

泥んこ衣類を洗う

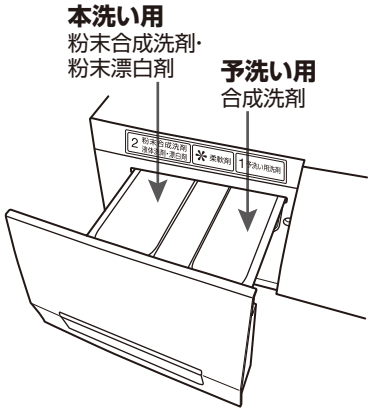
泥んこ予洗いコース

泥汚れの洗濯物などに
予洗いを追加し、しっかり洗います。

洗濯容量 8.0 kg以下

ご注意

- 洗剤投入容器には、予洗い用の洗剤と本洗い用の洗剤をそれぞれ指定の場所に入れてください。



- 本洗い用の洗剤と漂白剤は粉末をご使用ください。液体洗剤・液体漂白剤を使用すると、予洗い時に流れ出てしまいます。

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、「泥んこ予洗い」を選ぶ

必要に応じ、脱水回転数を設定してください。

4 スタート 一時停止 スタートする

- 洗濯量測定後、洗剤量の目安を表示します。

5 洗剤量表示中(約1分間)に本洗い・予洗い用の洗剤を洗剤投入容器に入れる

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17
洗剤の入れかた ➡P18

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じてください。

脱水のみをする

脱水のみコース

手洗いした衣類などを脱水のみしたいときに

脱水容量 8.0 kg以下

1 洗濯物を均等に入れ、ドアを閉める

2 電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、「脱水のみ」を選ぶ

必要に応じ、脱水時間、脱水回転数を設定してください。

4 スタート 一時停止 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じてください。

デリケートな衣類を洗濯する

ドライコース

デリケートな衣類の洗濯に適しています。
衣類の縮みを防ぐためにやさしく洗います。
「お湯洗い」「予約」は設定できません。

洗濯できるもの(例)

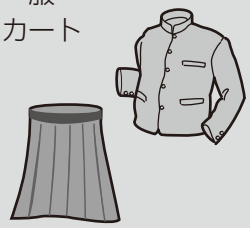
取扱い表示が、

のデリケートな衣類

ウール、カシミヤ
アンゴラのセーター
カーディガンなど

絹、麻のワンピース
ブラウス、シャツなど

学生服、セーラー服
スラックス、スカート
ジャンパー
カーテンなど



洗濯できないもの(例)

芯地を多く使っており、型くずれするもの
ネクタイ、ジャケット、スーツなど

水につけるだけで著しい収縮や変色、表面変化を起こす恐れのある素材や型くずれしやすいもの
レーヨン、キュプラおよびその混紡品、絹、ウールなどの中で強撚糸使いの生地、ジョーゼット、クレープ、ちりめんなど

毛倒れをするもの　ビロードなどのパイル地

表面の凹凸などが消えやすいもの
シワ、エンボス、樹脂加工品など

皮革、毛皮、装飾品のついたもの

和服、和装小物

取扱い表示がないもの、素材が不明なもの
色落ちしやすいもの

防水性のマット・シートや衣類など ➡P6

洗濯前のチェック

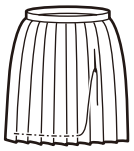
初めて洗う衣類は、色落ちしないか確かめる

●洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認してください。

●スカーフや外国製の衣類には色落ちしやすいものがあります。

毛素材などでプリーツ加工のものは、開かないように糸で留める

●糸は乾いてから取ってください。



ボタン・刺しゅうが付いている衣類は裏返す

シミや部分汚れがないか確かめる

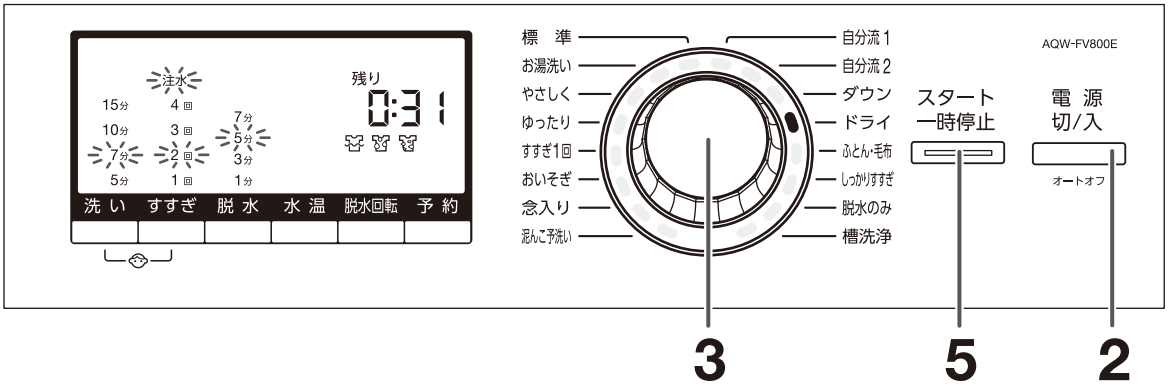
●シミは裏側にタオルをあて洗剤液をつけ、一定方向にブラッシングしてください。

●ポケット周り・そで口・えり・すその汚れは、洗剤液をつけブラシなどで軽くたたいて落としてください。

カーテンなどの大物以外は、洗い時間を7分以内にする

●自動設定は、7分になっています。
（縮みをおさえるため）

●カーテンのフックは、必ずはずしてください。



洗濯容量	1.5 kg以下

■ 重さの目安

セーター 約300g　スラックス 約400g　ブラウス 約200g

お知らせ

- セーターなどを1枚だけで洗うときは、脱水時のバランスをとるためバスタオル1枚を追加してください。
- 洗濯終了後、すぐに衣類を取り出し、陰干ししてください。長時間放置するとシワや縮みの原因になります。

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、「ドライ」を選ぶ

4 おしゃれ着用 液体中性洗剤を洗剤投入容器に入れる

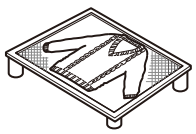
洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17
洗剤の入れかた ➡P18

5 スタート 一時停止 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じてください。

干しかた

●風通しの良い日陰に干してください。

ウール、アンゴラ カシミヤなどのセーター	絹、麻などの ブラウスやワンピース
	
形を整え、裏返して平干し	ハンガー干し
スカート	スラックス
型を整えてハンガー干し (伸びやすいものは平干し)	折り目を合わせて ハンガー干し

ふとん・毛布を洗濯する

ふとん・毛布コース

掛けふとん・毛布などの大物の洗濯に適しています。
ふとんや毛布のサイズや素材を確認して運転してください。
液体洗剤の使用をおすすめします。

洗濯できるもの

毛布

取扱い表示が の

●合成繊維100%の
マイヤー毛布・タフト毛布・織毛布

サイズ　シングル　140cm×210cm以下
ダブル　180cm×230cm以下

ふとん

取扱い表示が の

●中わたがポリエステル100%の夏掛けふとん

●洗濯機で洗えると記載されている羽毛掛けふとん

サイズ　シングル　150cm×210cm以下

洗濯できないもの

毛布

●毛100%のもの

●電気毛布

●ロングパイル【毛足1cm以上】
（毛倒れやくせがつく原因）

●カーペットカバー・1kgを超えるもの
（洗濯中にドアからの水もれの原因）

ふとん

●取扱い表示のないもの

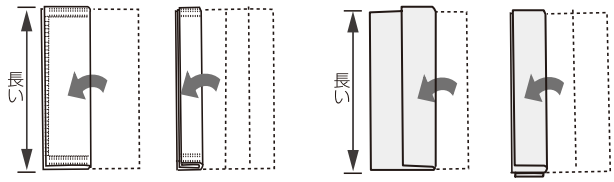
●側生地（外側の生地）がタオル地のもの【毛足1cm以上】
（乾燥すると縮む原因）

●中綿がポリエステル、
羽毛以外のもの

毛布・ふとんを入れる

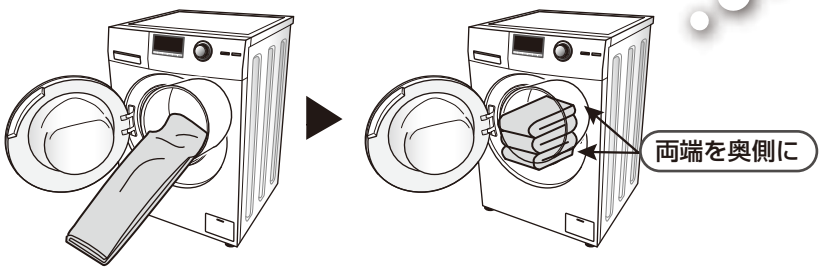
1 ゴミ・糸くずを取り除き、下図のようにたたむ

毛布（4つ折り）　**ふとん**（3つ折り）

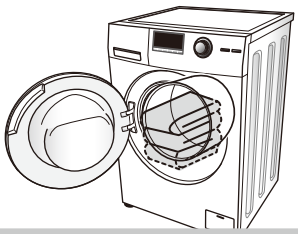


2 端をドラムへ入れ、びょうぶ折りになるように入れる

- 手で押さえながら入れてください。



毛布4kgの目安



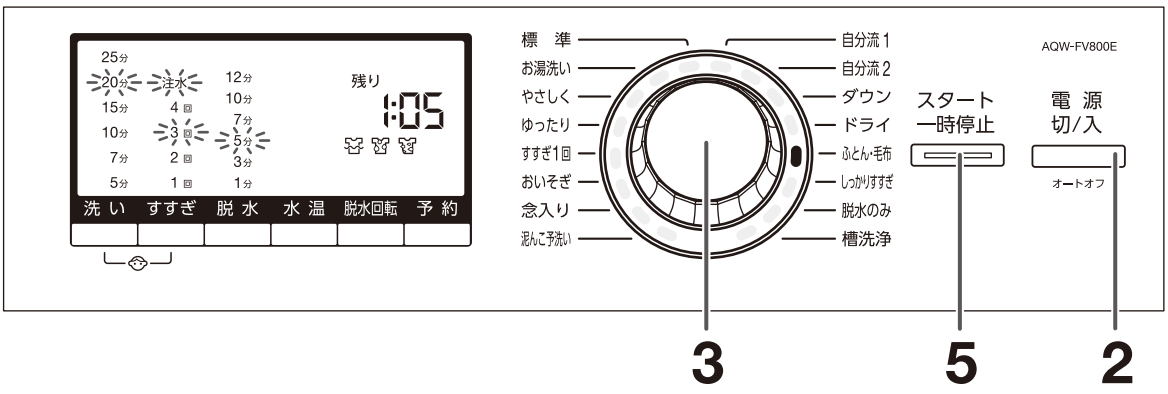
折りたたんでドラムの2/3以下

ふとん1kgの目安

折りたたんでドラムの1/2以下

お願い

- 洗濯機用毛布洗いネットは絶対に使わないでください。（脱水できません）
- 2枚以上、同時に入れないでください。ねじったり、丸めたり、無理に押し込んで洗濯すると本体や毛布・ふとんが破損する原因になります。



洗濯容量	
毛布	4.6 kg以下
ふとん	1.0 kg以下

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、「ふとん・毛布」を選ぶ

必要に応じ、脱水回転数を設定してください。

4 洗剤を洗剤投入容器に入れる

- 粉末合成洗剤は、溶かしてからドラム内に直接入れてください。

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17

5 スタート 一時停止 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じてください。

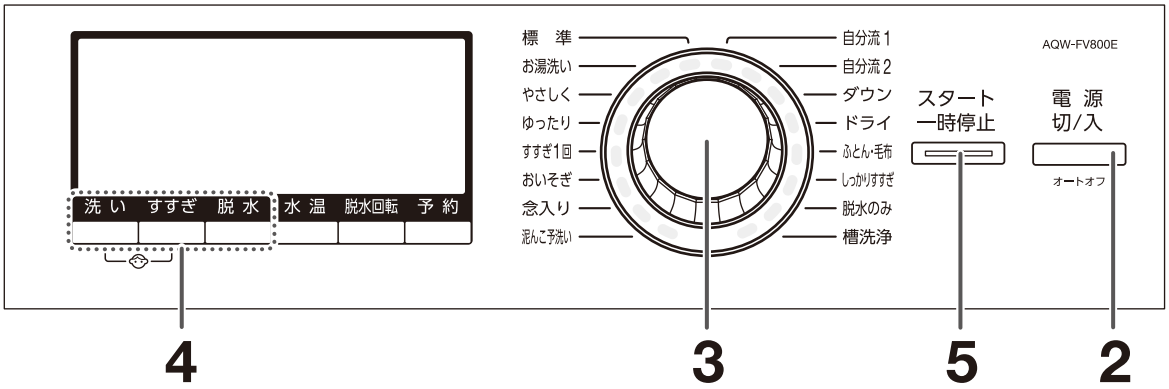
粉末合成洗剤を使う場合

ふとん・毛布を洗う際、粉末洗剤が溶け残る場合があるため、あらかじめ、溶かしてください

1. 約30℃のぬるま湯(約2L)を容器に用意して、洗剤を入れる
2. 固まったり、粉が残ったりしないようによくかき混ぜてからドラム内に少しずつ流し込む
3. 毛布・ふとん・シーツを入れ、運転を始める

コースの運転内容を変更する【お好み設定】

各コースの運転内容をお好みで変更して、「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に組み合わせたり、時間やすすぎ回数・方法などの内容を変更したりできます。
ただし、変更した内容は記憶しません。



お知らせ

- 変更した内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コースをご利用ください。
- 「U3」を表示したときは、洗濯物がからまっている場合があります。ほぐして入れ直してください。
- 水温を変更できるのは「お湯洗い」「自分流」コースのみです。

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、コースを選ぶ

4 お好みの時間、すすぎ回数、方法を設定する

- 「お湯洗い」「おいそぎ」「ダウン」「ドライ」「ふとん・毛布」コースは、洗濯量測定をしません。
  スタート前に洗剤を入れてください。

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17

必要に応じ、脱水回転数を設定してください。

5 スタート 一時停止 スタートする

- 洗濯量測定後、洗剤量の目安を表示します。
  （「お湯洗い」「おいそぎ」「ダウン」「ドライ」「ふとん・毛布」コースを除く）

6 必要に応じて洗剤を洗剤投入容器に入れる

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17
洗剤の入れかた ➡P18

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じてください。

洗い・すすぎ・脱水 の 個別運転

洗いのみ	洗い→すすぎ	すすぎのみ	洗い→脱水	すすぎ→脱水	排水のみ
［洗濯水は残りません］	［洗濯水は残りません］	［洗濯水は残りません］			

1 変更する行程にタッチし、お好みの内容を点滅させる

洗い	洗い すすぎ	すすぎ	洗い 脱水	すすぎ 脱水
に タッチする	に タッチする	に タッチする	に タッチする	に タッチする

2 使用しない行程にタッチし、消灯させる

すすぎ 脱水	脱水	洗い 脱水	すすぎ	洗い
に タッチする	に タッチする	に タッチする	に タッチする	に タッチする

ダイヤルを回し「脱水のみ」を選ぶ

▼

スタート 一時停止 スタートする

▼

ドラムが回りはじめたら、途中で

スタート 一時停止 一時停止する

▼

ドアロックが解除したら、

電源 切/入 電源を切る

お知らせ

- 「すすぎ」から始める場合は、給水から始まります。

■タッチするごとに、矢印の順に移動します。

洗い時間

洗うもの(例)

10分 ▼ 15分	普通の汚れもの
20分 ▼ 25分	汚れのひどいもの
0（消灯）	洗いなし
5分 ▼ 7分	汚れの少ないもの

すすぎ回数・方法

2回	ため2回
注水2回	注水2回
3回	ため3回
注水3回	注水3回
4回	ため4回
注水4回	注水4回
0（消灯）	すすぎなし
1回	ため1回
注水1回	注水1回

脱水時間

脱水するもの(例)

5分 ▼ 7分	普通の洗濯物
10分 ▼ 12分	厚　物
0（消灯）	脱水なし
1分 ▼ 3分	シワになりやすいもの

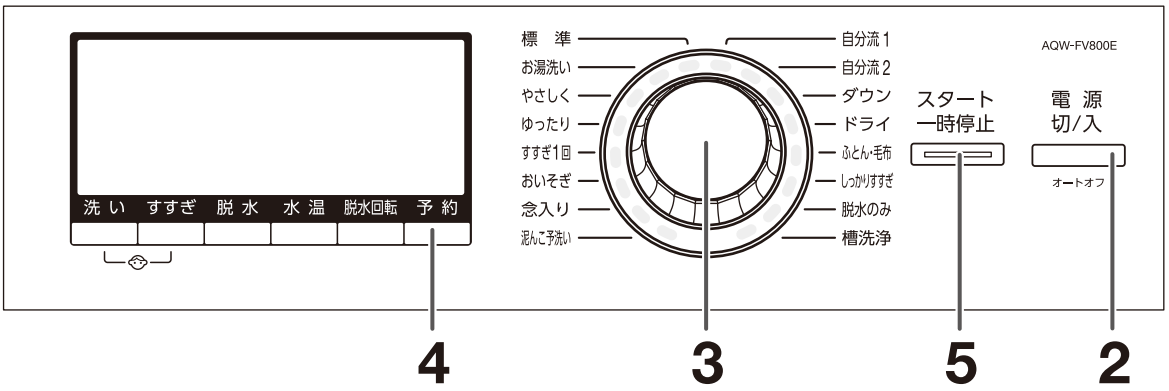
お知らせ

- コースにより設定できる内容が異なります。　コース内容と所要時間 ➡P14～15

予約運転をする

運転終了時間を予約できます。

「泥んこ予洗い」「脱水のみ」「ドライ」「槽洗浄」コースは設定できません。



お知らせ

- 電源を切ると予約は取り消されますが、電源が切れたとき(停電や電源プラグがコンセントから抜けたときなど)は、電源を入れ直すと、続きからスタートします。
- 運転終了時間は、水道水圧・排水条件などで変わります。

お願い

- **水栓からの水もれがないか確認してください。**
- 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。
- 衣類のシワ付きを防ぐため、運転終了後、すぐに干してください。

粉石けん

固まる場合があるので、使わないでください。

柔軟剤

予約時は長時間放置するため、衣類の上にこぼした場合は、水洗いしてください。
落ちないときは、洗剤をつけてもみ洗いしてください。(シミ・色落ち・傷みの原因)

漂白剤

酸素系をお使いください。塩素系は、変色や損傷の原因になるため、使わないでください。

予約待機中の運転内容の確認	「予約」をタッチする
予約の取り消し	電源を切る
予約の変更	一度電源を切って設定しなおす

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 ダイヤルを回し、コースを選ぶ

必要に応じ、脱水回転数を設定してください。

4 「予約」をタッチし、運転終了時間を設定する

- 最長24時間後までを30分単位で設定できます。

(例) 6時間後に運転を終了させる場合

5 スタート 一時停止 スタートする

- 洗濯量測定後、洗剤量の目安を表示します。
  (「お湯洗い」「おいそぎ」「ダウン」「ふとん・毛布」コースを除く)

6 洗剤を洗剤投入容器に入れる

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 ➡P16~17
洗剤の入れかた ➡P18

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じてください。

こんなとき

終了ブザー音と操作音を消したい

電源「入」の状態で

脱水 と 予約 を同時に、4秒以上タッチし続ける

- 「bE EP」「oFF」を表示し、設定が完了

再び鳴らしたいとき　上記と同じように操作する

- 「bE EP」「on」を表示し、設定が完了

運転途中で変更したい

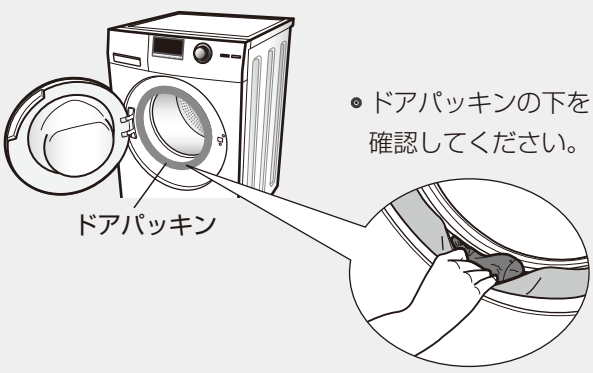
スタート 一時停止 一時停止して変更する

- 「すすぎ」「脱水」の内容のみ、洗い終了までは変更できます。
- コースにより変更を受け付けない行程があります。

お好み設定➡P30

その他の変更は電源を切り、再び「入」にしてから設定し直してください。

運転後、小物衣類が見当たらない



- ドアパッキンの下を確認してください。

のりづけしたい

■のりづけできる洗濯物　1.5kg以下

■使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり(酢酸ビニール系)

- 上記以外は故障の原因になる恐れがあるため、使わないでください。

のりの量は、容器に表示されている分量を目安にしてください。

1 のりを1L程度の水で薄め、ドラムに入れる

2 水栓を開き、洗濯物を入れる

3 ドアを閉め、電源 切/入 電源を入れる

4 ダイヤルを回し、「おいそぎ」を選ぶ

5 洗い「5分」・すすぎ「なし」・脱水「1分」を設定する　お好み設定➡P30

6 スタート 一時停止 スタートする

7 洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出す

のりづけ後はドラムを洗ってください

のりが残っていると、故障の原因になります。

1 洗濯物を取り出した後、電源を入れ、ダイヤルを回し、「ふとん・毛布」を選ぶ

2 洗い「7分」・すすぎ「なし」・脱水「1分」を設定する　お好み設定➡P30

3 ドアを閉め、スタート 一時停止 スタートする

- 運転終了後、水栓を閉じてください。

こんなとき（つづき）

黒ずみ、黄ばみ、異臭をなくしたい

タオル・肌着などは数カ月使うと、洗濯していても徐々に皮脂汚れが蓄積し、それを洗濯すると黒ずみ、臭いが発生する場合があります。

黒ずみ、異臭は…

お湯で洗濯をすると…

洗浄力が高いために一度落ちた汚れが再付着し、黒ずみ、臭いの原因になることがあります。
洗剤量を多めにご使用いただくと、汚れの再付着を抑えることができます。

衣類の汚れが多いと…

「標準」コースでは十分に汚れが落ちずに、それが原因で黒ずみ、臭いが発生する場合があります。

洗剤が少なすぎると…

一度落ちた汚れが再付着し、黒ずみ、臭いの原因になります。

液体洗剤を使用すると…

黒ずみが目立つことがあります。気になる場合は粉末合成洗剤をご使用ください。

柔軟剤を入れすぎると…

衣類に柔軟剤が多く残り、黒ずみ、臭いの原因になります。

黒ずみ、黄ばみ、異臭をなくすには…

1 バケツなどに約50℃のお湯（5L）を用意する
- やけどに注意してください。

2 洗剤に付属のスプーン1/2杯の洗剤を入れてよく溶かす

3 洗濯物を入れ、約1時間つけおきする

4 手でもみ洗いをした後、「標準」コースで洗濯する
- 洗い時間は長めに設定してください。

それでも落ちない場合は

衣類用漂白剤をご使用ください。
白物には塩素系漂白剤、色柄物には酸素系漂白剤をご使用ください。
なお、ご使用方法は、漂白剤の説明書に従ってください。

凍結の恐れがある

運転終了後も、給水ホースやドラム内には水が少し残っています。気温が低くなると、その水が凍結してしまうことがあります。

凍結防止方法

給水ホース、ドラムの水を抜く

1 水栓を閉め、ドアを閉める

2 電源切/入 電源を入れ、ダイヤルを回し、「ドライ」を選ぶ

3 スタート一時停止 スタートし、約30秒後に 電源切/入 電源を切る
- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

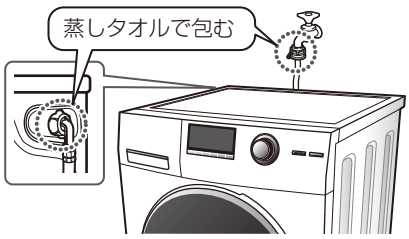
4 給水ホースの水栓側をはずし、給水ホース内の残水をバケツなどで受ける

5 電源切/入 電源を入れ、ダイヤルを回し、「脱水のみ」を選び脱水「1分」を設定する

6 スタート一時停止 スタートする
- ドラム内の水を排水するためです。

凍結したときは…

1 接続部および給水ホースを熱い蒸しタオルで包む



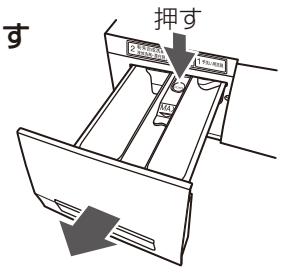
2 水栓を閉め、給水ホースをはずし、お湯（50℃未満）につける

3 約2Lのお湯（50℃未満）をドラムに入れ、約10分間放置する

4 給水ホースをつないで水栓を開き、下記内容を確認する
- 手でドラムが回せるか
- 運転して給水・排水するか

お手入れ

必要に応じて　洗剤投入容器

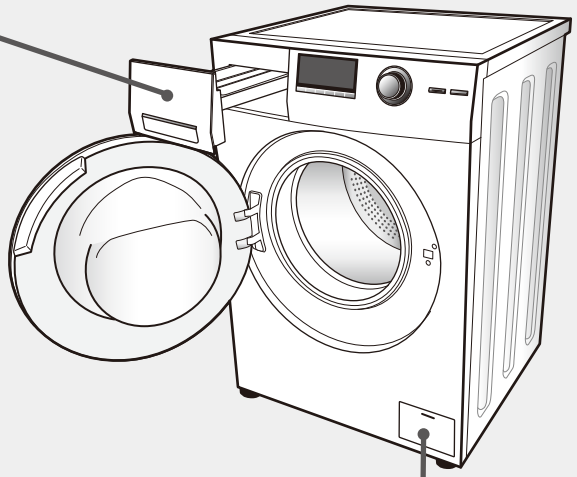


1 手前に止まるまで引き出す

2 「PUSH」を押しながら引き出す

3 水洗いする

4 洗剤投入容器を本体に合わせて水平にはめこむ



お願い

- **運転中にお手入れをしないでください。**

お知らせ

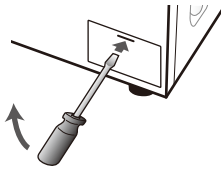
- 「洗剤投入容器」をはずしたまま、運転をしないでください。（水もれの原因）
- 運転終了後、容器内をセルフクリーニングした水が残っていることがあります。

必要に応じて　排水フィルター

お願い
- **運転中やドラム、排水ホース内に残水がある場合は、排水フィルターをはずさないでください。**「E11」「E12」を表示した場合は、ドラム内に水が残っている可能性がありますので、ご注意ください。（多量の水が出る恐れ）

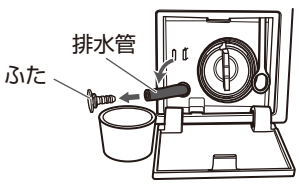
準備　**排水フィルターをはずす前に必ず 脱水「1分」を行い、排水する。**

1 マイナスドライバーを排水フィルターカバーの穴に入れもち手を上に持ち上げながら手前に引き排水フィルターカバーを開ける



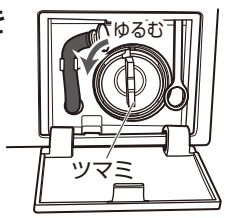
2 残水を受ける水受けを準備する
排水管のふたをはずし、排水管からの残水を受ける

- 水が出なくなったら、排水管にしっかりふたをして、もとの位置に戻してください。

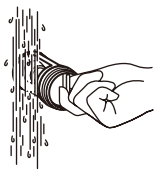


3 排水フィルターのツマミを左(反時計回り)に回し手前に引き出す

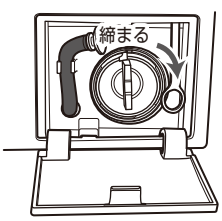
- 少量の水が出ることがあります。



4 排水フィルターの汚れを水で洗い流す



5 排水フィルターを本体へ戻しツマミを右(時計回り)に回し、**しっかりと締め、排水フィルターカバーを閉める**



お手入れ（つづき）

本 体

必要に応じて

水滴、糸くず、汚れがついたら…

水を含ませたやわらかい布で拭いてください。

- 汚れがひどい場合は、うすめた台所用中性洗剤または石けん水をつけて拭き取った後、絞ったやわらかい布で水拭きしてください。

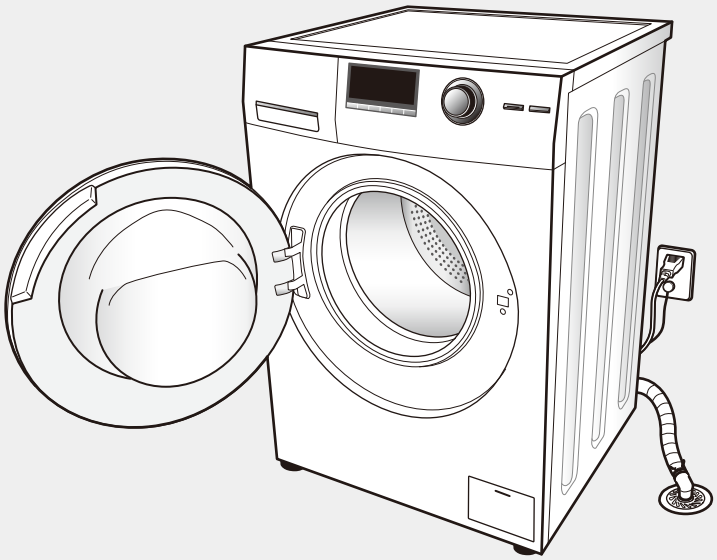
プラスチック部分やフレームに、洗剤・柔軟剤・漂白剤がついたら…

すぐに水を含ませたやわらかい布で拭き取ってください。

- 放置するとプラスチック部品が割れる原因になります。

ご注意

- 住宅用合成洗剤・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。
  プラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- ドア（ガラス面）に薬品やガラスクリーナーなどを使わないでください。周辺部品のさびや破損の原因になります。



給水口

必要に応じて

給水口にゴミがたまると、水の出かたが悪くなります。

1 水栓を閉め、電源 切/入 電源を入れる

2 ダイヤルを回し、「ドライ」を選ぶ

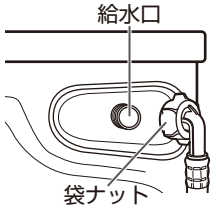
3 スタート 一時停止 スタートする

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

4 約30秒後、スタート 一時停止 一時停止する

5 ドアロック解除後、電源 切/入 電源を切る

6 袋ナットをゆるめてはずし、歯ブラシなどでゴミを取り除く

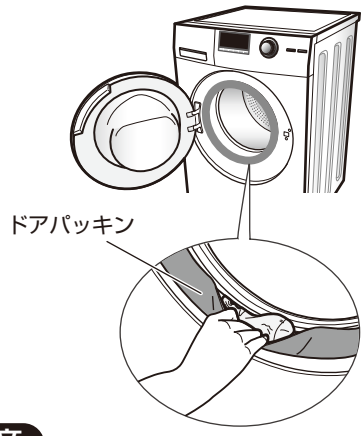


7 袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける

ドアパッキン

毎回

水滴・糸くずや汚れを拭いてください。
糸くずなどがたまると水もれする恐れがあります。



ご注意

- ドアパッキンの下に洗濯物が入り込んでいる場合があります。

排水口

月1回程度

排水口には糸くずや汚れがたまりやすいため、定期的に糸くずなどを取り除いてください。放置すると臭いの原因、排水できない原因になります。

石けんカス・黒カビ

■石けんカス・黒カビを防ぐために

- 長期間のご使用で、石けんカス（黒いもやもやとしたもの）が発生し、洗濯物につくことがあります。洗剤の入れすぎや溶かし不足がないようにしてください。

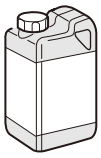
■石けんカス・黒カビが発生したら…

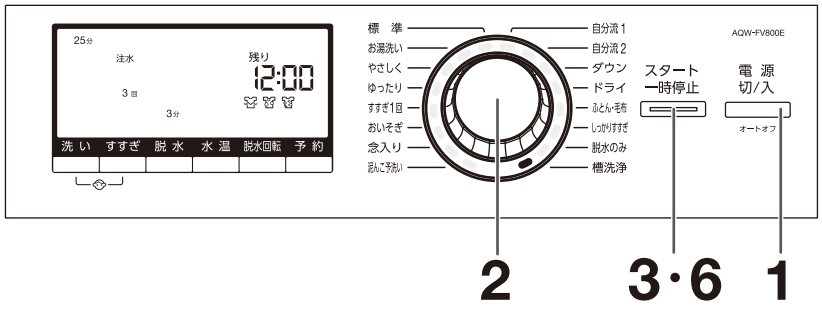
- 石けんカス･黒カビが発生した場合は、「槽洗浄」コースを運転してください。
  本製品は「自動おそうじ」を行いますが、汚れの種類や程度によって洗い流せない場合があります。

槽洗浄コース

別売の洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-1）で、ドラムを洗浄します。
洗濯物は入れないでください。

別売 ➡P50





所要時間 約12時間

運転前

- 刺激臭がします。換気を十分にしてください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書をよくお読みください。
- 排水フィルターのゴミを取り除いてください。
- ゴム手袋などをして肌を保護してください。

運転後

- 浮き出た石けんカスは拭き取ってください。
- 排水フィルターを掃除してください。

お知らせ

- 「槽洗浄」コースは、運転内容の変更はできません。
- 水温は「20℃」「30℃」が選べます。

お願い

- 24時間以上、洗浄液を入れたまま放置しないでください。
  （故障の原因）

1 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

- 洗濯物は入れないでください。

2 ダイヤルを回し、「 槽洗浄 」を選ぶ

必要に応じ、水温を設定してください。

3 スタート 一時停止 スタートする

4 「oPEn」と表示し、ドアロックが解除したらドアを開ける

5 洗濯槽クリーナーをドラムに入れ、ドアを閉める

- 使用量は洗濯槽クリーナーの説明書に従ってください。

6 スタート 一時停止 スタートする

- 洗濯槽クリーナーを混ぜるための数分間のかくはん後、約11時間つけおきをします。
  その後、洗い、すすぎ、脱水をします。

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じ、排水フィルターを掃除してください。

さび

■さびを防ぐために

- 赤さびの混じった水やヘアピンなど、さびやすいものを入れないでください。
- 長時間水を入れたまま放置しないでください。

■さびがついたら…

- **やわらかい布かスポンジに、市販のクリームクレンザーをつけてさびを拭き取ってください。**
  金属たわしなどはドラムを傷めるので使わないでください。

据え付け

据え付けは販売店または専門業者にご依頼ください。

この据え付けかたどおりに設置・取り付けをしないと事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。

据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
据え付け後は、必ず試運転をして、水もれや異常音が発生しないことを確認してください。 ➡P46

1 輸送金具の取りはずし
2 据え付け場所の確認 ➡ P39
3 排水ホースの処理 ➡ P40
4 給水ホースの取り付け ➡ P42
5 水平の確認と調整 ➡ P44
6 アース・電源 ➡ P44
7 設置確認・試運転 ➡ P45

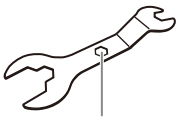
1 輸送金具の取りはずし

輸送時に内部機構を保護していた4本の輸送金具をスパナ(付属品)で必ずはずしてください。
輸送金具がついたまま運転すると異常振動や故障の原因になります。

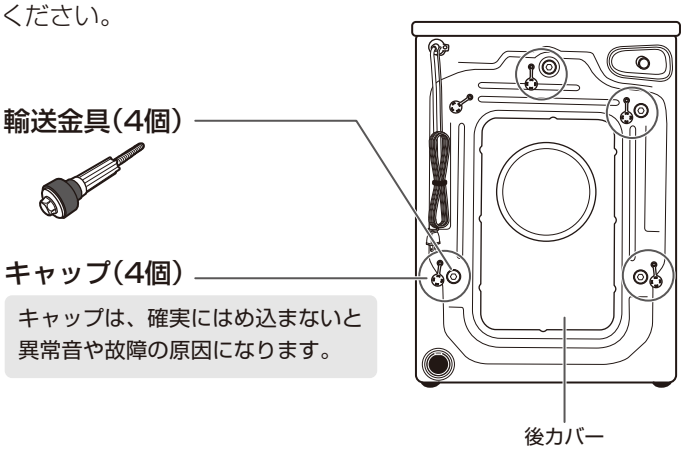
お願い
- 輸送金具をはずした後は、本体を倒さないでください。

■必要なもの

スパナ(1個)



輸送金具用

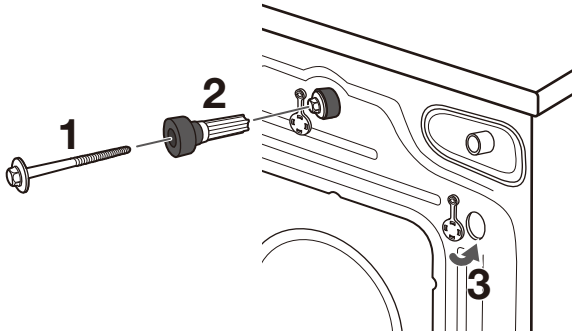


1 付属のスパナで輸送金具(背面)4カ所のボルトをゆるめ、後方に抜き取る

2 輸送金具のゴム部品を揺らしながら後方に抜き取る

ご注意
- 輸送金具の白い部品ははずれやすいため、洗濯機内部へ落とさないように注意してください。落ちた場合は後カバーをはずし、必ず取り除いてください。

3 キャップを矢印の方向に回転させ、背面4カ所の開口部にそれぞれツメがかかるまで確実にはめ込む

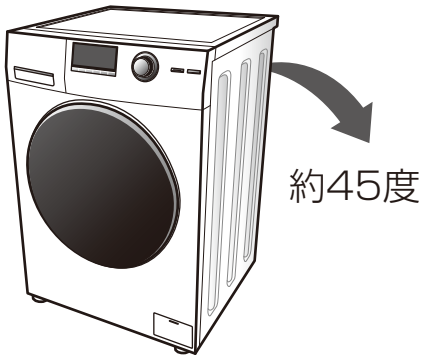


お知らせ
- **はずした輸送金具、付属品のスパナは転居などの本体輸送の際に必要です。必ず保管してください。**
- **本体を輸送の際は、逆の手順で必ず輸送金具を取り付けてください。**
  (取り付けは、ドラム槽を背面側に押し付けながらボルトをセットしてください。)

ご使用後、製品を移動する場合のご注意

製品を傾けると、排水ホースから水が出てくる場合があります。

製品を移動する前に排水ホースを排水口に差したまま、製品を後方に約45度傾けて水を抜いてください。（約5秒間）
けがを防ぐために、作業は必ず2人以上で行ってください。



2 据え付け場所の確認

⚠ 警 告

浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
（感電・漏電火災の原因）

お知らせ

- ドラムに残っている水滴や排水ホース接続口から出る水は、工場での検査時のものです。故障や不良ではありません。

お願い

- 排水口には、糸くずや汚れがたまりやすく、放置すると臭いの原因、排水できない原因になります。据え付け前に排水口の掃除をしてください。

次のような場所には、設置しない

- **直射日光のあたる場所**
  （プラスチック部品の変色 ・ 変形の原因）
- **冬期に凍結の恐れのある場所**
- **平らでない床・弱い床・凸凹な床の上**
  振動や騒音が大きくなります。床が弱いときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **高い置台の上**
  （底部と床の隙間から、子供などが手を入れ、けがをする原因）

しっかりした水平な床に据え付ける

傾斜した床や弱い床、不安定な台の上は振動や騒音が大きくなります。

テレビ・ラジオなどの家電製品に近付けない

（画像の乱れ・雑音の原因）

包装用台座は据え付け台として使わない

（本体故障の原因）

本体は前方を開放して、壁から表の寸法以上離すこと

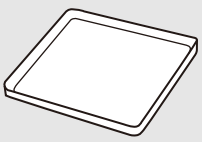
- 異常な振動や音を防ぐためです。

場所	離隔距離(cm)
上方	10
左方	※ 1
右方	※ 1
後方	5
下方	0

※ 排水口側は、壁から8cm以上、真下排水パイプを使用した場合、壁から15cm以上

洗濯機トレーの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと、本体の内側に結露（露つき）が生じます。この結露や水はねで床をぬらすことを防ぐためです。

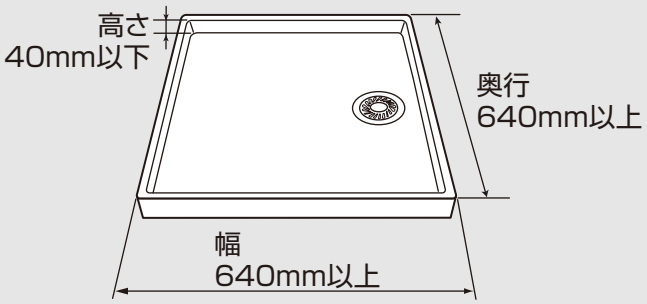


別売 ➡P50

据え付け（つづき）

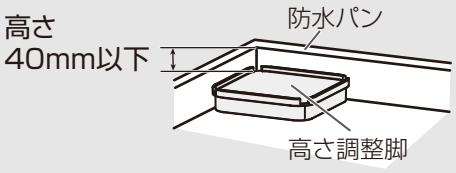
防水パンのサイズを確認してください

外寸法が幅640mm×奥行640mm以上必要です。
高さが40mm以上ある場合は、高さ調整脚（付属品）を使用し、防水パンの上部と高さ調整脚との差が40mm以下になるようにしてください。
（排水フィルターカバーを開けることができません。）



■高さ調整脚（付属品）について

- 接着する面の水・ほこりなどはきれいに拭き取ってください。
- 両面テープのシールをはがし、床、または防水パンに固定してください。
- 2枚まで重ねることができます。
  1枚で20mm、2枚重ねると40mm高くなります。
  3枚以上重ねないでください。



3 排水ホースの処理

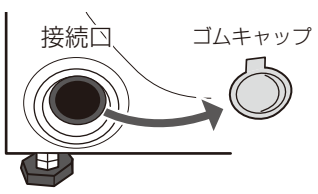
step1 排水ホースを取り付ける

お願い

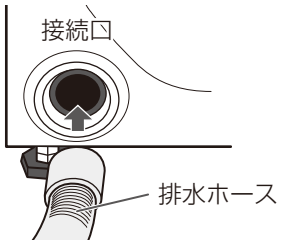
- **排水ホースの取り付けは、確実に行ってください。正しく取り付けないと、使用中に排水ホースが抜け、水もれの原因になります。**

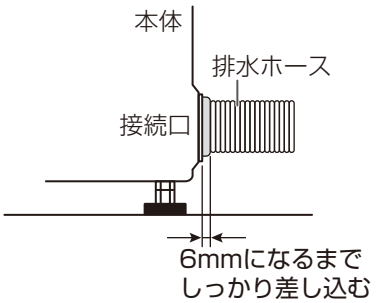
1 本体のゴムキャップをはずす

- 接続口から水が出ることがあるため、タオルなどを用意してください。工場での性能テスト時の残水で故障や不良ではありません。



2 排水ホースを接続口に出代が6mmになるまでしっかり差し込む

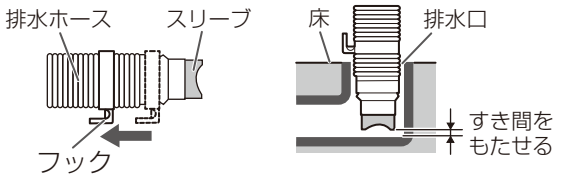




step2 排水ホースを排水口に差し込む

フックをずらし、排水口に差し込む

スリーブは、排水ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてご使用ください。

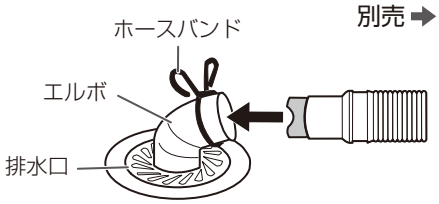


排水ホースは、排水時の水の力や振動などで動く場合があるため、排水口にしっかり差し込み抜けないことを確認してください。

排水口がエルボの場合

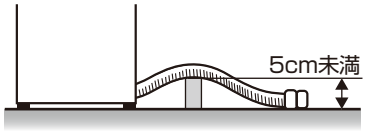
排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、**ホースバンド**(別売)で確実に固定してください。

別売 ➡P50



ご注意

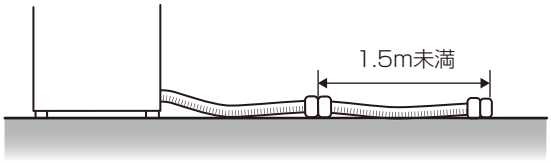
- 敷居などで排水ホースが高くなると、排水できないことがあります。5cm未満にしてください。



排水ホースを延長する場合

別売の**排水ホース補修キット**をお買い求めのうえ、取り付けてください。 別売 ➡P50

平らな場所で、1.5mまで延長できます。

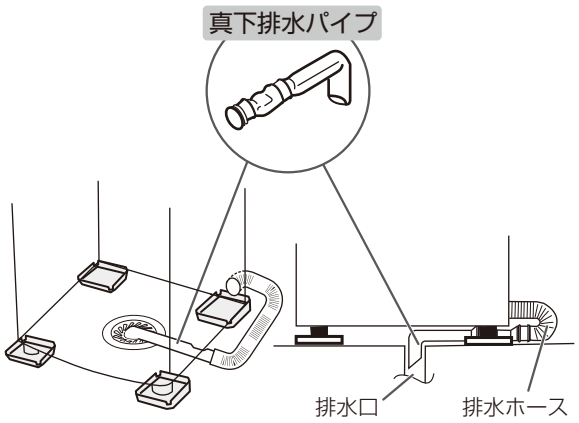


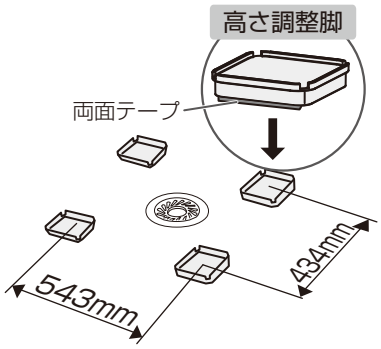
排水口が本体の下にある場合

別売の**真下排水パイプ**をお買い求めください。

別売 ➡P50

※取り付け方法は、別売部品の説明書に従ってください。

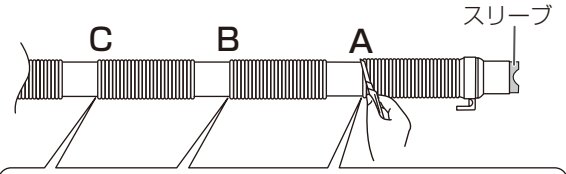




ご注意

- 必ず高さ調整脚を敷いてください。洗濯機が真下排水パイプに乗り上げて異常振動したり、破れて水もれする原因になります。
- 防水パンにエルボがある場合は、エルボを取りはずして真下排水パイプをご使用ください。

排水ホースが長すぎる場合



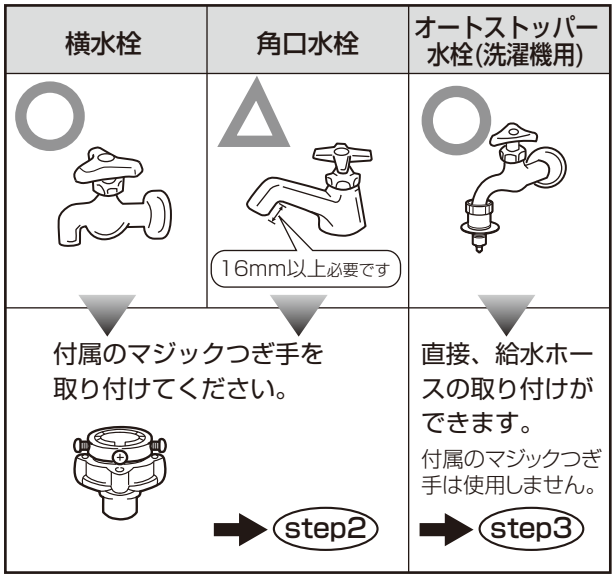
本体と排水口の距離に応じて、3カ所**A**・**B**・**C**のうち、いずれかを切って先端にスリーブをはめ直してください。

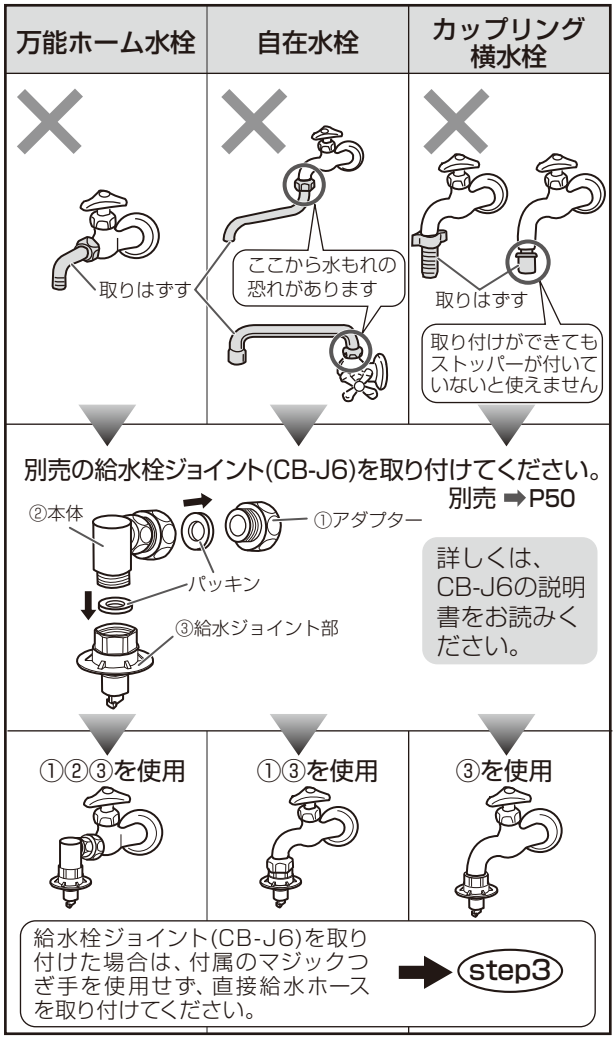
据え付け（つづき）

4 給水ホースの取り付け

- 給水ホース･マジックつぎ手は、付属品または当社専用の新品のものを使用してください。
- 水栓にはマジックつぎ手が使えるものと使えないものがありますので、ご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口から水もれがないか確認してください。

step1 水栓形状を確認する



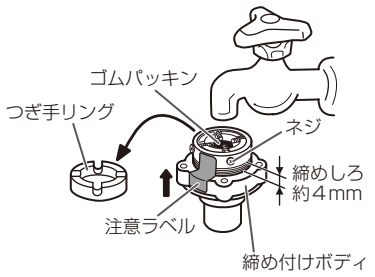


水栓が合わないときは、お買い上げの販売店または水道工事店にご相談ください。

step2 マジックつぎ手を取り付ける

1 **ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる**

- 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
- 注意ラベルは締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。

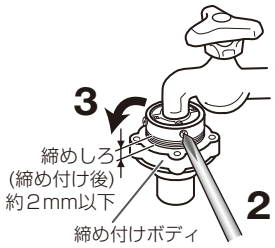


2 **水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかり締め付ける**

- 壁側になるネジは前もって調整しておくと便利です。

3 **注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約2mm以下になるまで強く締め付ける**

- 強く締め付けないと水もれする恐れがあります。



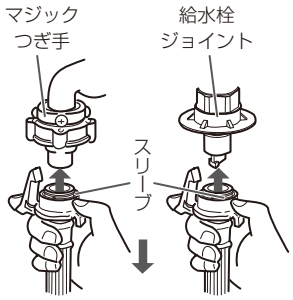
ご注意

- **取り付けかた・転居の際の取り換え・長期間の使用でゆるみが生じたなどで、水もれする場合**
  ➡ **1** 図のように締めしろを約 4mm にゆるめてから、取り付け直してください。
- **パッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化している場合**
  ➡ マジックつぎ手を取り換えてください。
  転居や取り付け直したときは、特にご注意ください。
- **ゆるみ・ぐらつき・傾きがないか、確認してください。**
- **今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り換えてください。**

step3 給水ホースを取り付ける

水栓側

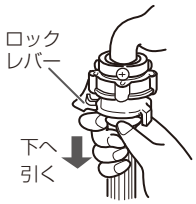
1 スリーブを引き下げたままで マジックつぎ手(または給水栓ジョイント / オートストッパー水栓)に差し込む



2 スリーブをはなし、「パチン」と音がするまで差し込む

3 ロックレバーがかかっているのを確認した後、給水ホースを下へ引き、完全に取り付けができているか確認する

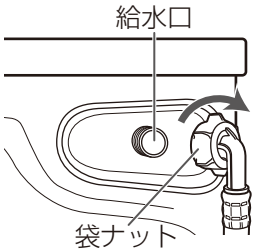
- ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。(水もれの恐れ)



本体側

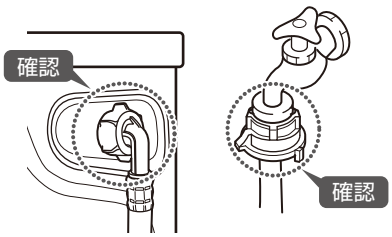
1 袋ナットの先を給水口にあてがう

2 袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける



ご注意

- 転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、給水ホースの接続部から水もれがないか確認してください。



給水ホースをはずす場合

水栓を閉めるだけでは水が飛び散りますので、次の手順を必ずお守りください。

1 水栓を閉め、電源 切/入 電源を入れる

2 ダイヤルを回し、「ドライ」を選ぶ

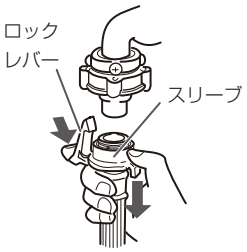
3 スタート 一時停止 スタートし、

約30秒後に 電源 切/入 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

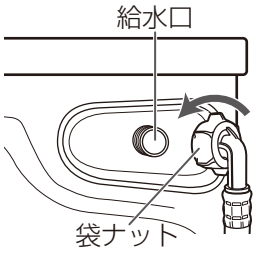
4 水栓側

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げて給水ホースをはずし、給水ホース内の残水をバケツなどで受ける



5 本体側

袋ナットをゆるめてはずす



給水ホースを延長する場合

お買い上げの販売店にご相談のうえ、別売の**給水延長ホース**をお買い求めください。 別売 ➡P50

据え付け（つづき）

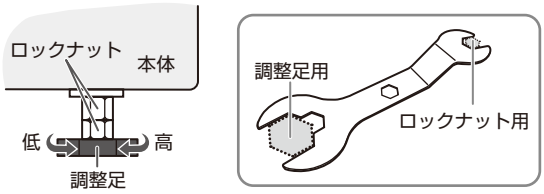
5 水平の確認と調整

設置場所･設置面の状態により､本体が水平に置けない場合があります。
次の説明をお読みのうえ､ガタつきをなくし､水平設置を確認してください。

ご注意
- 水平に設置できていないと本体の移動･異常振動･騒音･故障の原因となります。必ず水平になるよう調整してください。

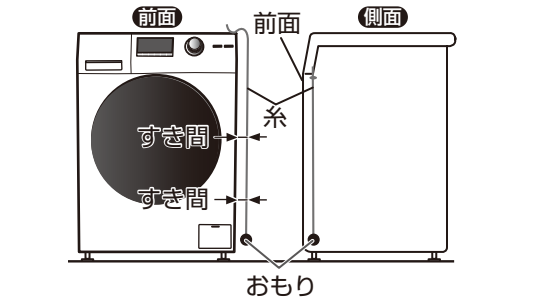
1 ガタつきがないように調整足（前面2カ所）の高さを調整する

- 本体を傾け、前面を浮かして調整してください。



2 水準器で水平度を確認する

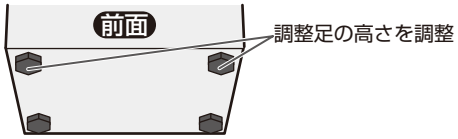
- 水準器がない場合は、おもりを付けた糸を図のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。



糸と本体のすき間が上下同じなら水平

糸と前面が平行なら水平

3 水平度に応じ､調整足で調整する



4 本体上端の対角（右前・左後 および 左前・右後）を押さえて、ガタつきがないか確認する

5 調整が終わったら、ロックナットを回してしっかり締めつける

6 アース･電源

アース工事は有料です

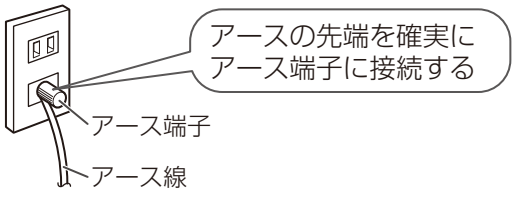
⚠ 警 告

万一の感電防止のため、アース線を確実に取り付ける
(故障・漏電による感電の原因)

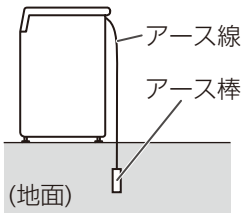
- 漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- アースの付けはずしは、電源プラグをコンセントから必ず抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、アースの取り付けを必ず行ってください。

定格15A以上･交流100Vのコンセントを単独で使う
電源プラグは根元まで確実に差し込む
(火災・感電の原因)

コンセントにアース端子がある場合



コンセントにアース端子がない場合



法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

お願い
- ガス管、電話線や避雷針、水道管には接続しないでください。（法令などで禁止されています）

7 設置確認・試運転

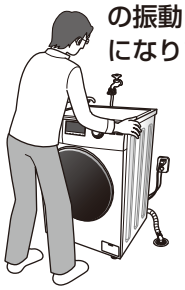
必ず設置確認・試運転を行ってください。

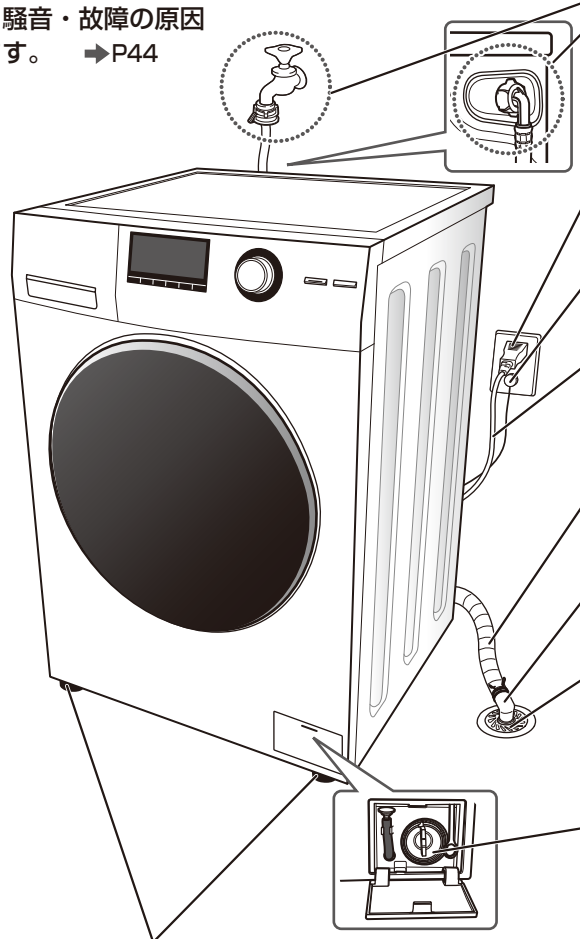
確認重要箇所

☐ 水準器などにより水平設置されていますか。
➡P44

☐ 本体上端の対角(右前・左後および 左前・右後)を押さえたとき、ガタつきはありませんか。

- ガタつきがあると、脱水時の振動・騒音・故障の原因になります。 ➡P44





☐ 水栓側および本体側の給水ホース接続部から水もれしていませんか。
➡P42~43

☐ 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使っていますか。 ➡P44

☐ アースはしっかり接続されていますか。
➡P44

☐ 電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみこんでいませんか。

☐ 排水ホースが途中で高く持ち上がっていませんか。 ➡P40

☐ 排水ホースや接続部などから、水もれしていませんか。 ➡P40～41

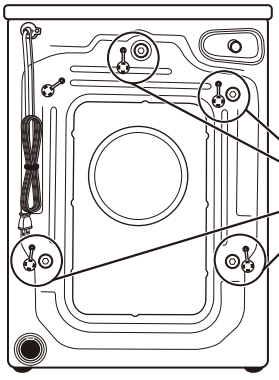
☐ 排水できましたか。

- 排水口に糸くず・ゴミなどが詰まっていると排水できません。

☐ 排水フィルターが取り出せますか。

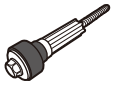
- 設置高さが足りないと、排水フィルターカバーが防水パンなどにあたって開かず、排水フィルターが取り出せません。 ➡P40

☐ 調整足はしっかり締まっていますか。
➡P44



☐ 本体背面にある輸送金具（4本）を取りはずしましたか。 ➡P38

☐ 輸送金具は、4本ありますか。



お知らせ

- **はずした輸送金具、付属品のスパナは転居などの本体輸送の際に必要です。取扱説明書・保証書とともに必ず保管してください。**

据え付け（つづき）

試運転

ドラム内には、**何も入れない**で次の手順で試運転をしてください。
水もれ・給排水の不具合・異常な音・本体のガタつき・揺れのないことを確認してください。

1 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

2 ダイヤルを回し、「おいそぎ」を選ぶ

3 洗い「5分」、すすぎ「なし」、
脱水「3分」を設定する

4 ドアを閉め、スタート 一時停止 スタートする

- 5分間の洗いの間に、水もれがないことを確認する。
- 3分間の脱水の間に、異常音・振動がないことを確認する。
- 運転終了までにその他エラーなどの異常がないことを確認する。

ブザーが鳴ったら、運転終了

運転中にご確認ください

- **異常な音、ガタつき、揺れはでていませんか。**
  設置状態にガタつきはありませんか。
- **水もれはありませんか。**
  給水ホース、排水ホースの接続部から水滴がにじんだりしていませんか。

次の異常時には、エラー表示とブザーでお知らせします。

E11
- 給水ホースが接続され、水栓が開いていますか。

E12
- 排水ホースの確認
  - 途中で高く持ち上がっていませんか。
  - 排水口（フィルターやトラップ部）が糸くずなどで詰まったり、ふさがれたりしていませんか。

エラーの原因を取り除き、スタートすると運転を継続します。

こんな表示がでたら

表示／状態	調べるところ／処置	
E11 給水できません	● 水栓を開いていますか。 ● 給水口の網にゴミなどが詰まっていませんか。 ➡ P36 ● 凍結していませんか。 ➡ P34 ● 断水していませんか。 ● 井戸水を使っていませんか。 ➡ P5	点検後 「スタート / 一時停止」 を押す
E12 排水できません	● 排水ホースを倒していますか。 ● 排水ホースがつぶれていませんか。 ● 排水ホースが途中で高くなっていませんか。 ➡ P41 ● 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、排水ホースの先端がふさがれていませんか。 ➡ P40 ● 排水口（フィルターやトラップ部）に糸くずなどが詰まっていませんか。 ➡ P35	
E41 ドアロックできません	● ドアはしっかり閉まっていますか。	ドアを閉め 「スタート / 一時停止」 を押す

E41 表示で調べても直らない場合は、ドアロック装置の故障の恐れがあります。
電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めてお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。

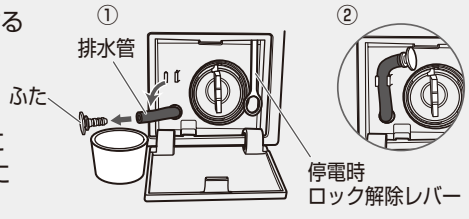
U3 脱水できません	● 洗濯ネットを使用していませんか。 ➡ バランスを取るために洗濯ネットに入れた衣類の量以上のぬれた衣類を追加する。または、ネットから取り出してください。 ➡ P11 ● 厚手のもの、かさばるもの1枚だけで脱水していませんか。 ジーンズ・バスローブ・トイレマット・木綿の厚手のトレーナーなど ● バスタオルなどの少量(数枚)衣類を脱水していませんか。 ➡ バランスを取るためにぬれた衣類を2〜3枚追加してください。 ➡ P11 ● 衣類がからまっていませんか。 ● 「ふとん･毛布」コースで洗濯物が渦巻き状になっていませんか。 ➡洗濯物をほぐしてください。	電源を入れ直し 脱水する 脱水のみをする ➡ P25
	● 本体がガタついたり、傾いた床に設置していませんか。 ➡ P44 ● 輸送金具を取りはずしましたか。 ➡ P38	
LoC ドアが開きません	水位・水温が高い ● 洗いやすすぎ中にドアを開けようとしていませんか。 水位・水温が高いと開けられません。 ➡ ドラムの水を排水してください。 ➡ P31	続けて運転する場合 「スタート / 一時停止」 を押す ドラムの水を排水する
	チャイルドロック中 ● 「AUto」と「LoC」を交互に表示していませんか。 ➡ P19	チャイルドロックを 解除する
UL チャイルドロック中	● チャイルドロックを設定していませんか。 チャイルドロック設定中に操作をすると「UL」を表示し操作を受け付けません。 ➡ P19	チャイルドロックを 解除する

上記以外の表示がでた場合は、制御部品の点検や修理が必要です。
電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めてお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。

故障かな？

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

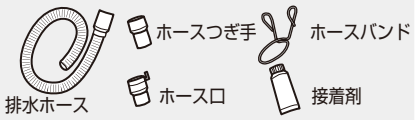
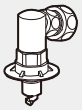
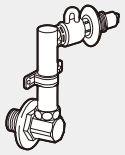
	状　態	原　因 ／ 調べるところ
運転動作	運転しない	● 電源プラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 電源が入っていますか。 ● 「スタート/一時停止」を押しましたか。 ● 停電していませんか。 ● ご家庭の電源ヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。 ● 予約中ではないですか。
	水量が少ない（水位が低い）	● ドラム式は少ない水で洗濯できるのが特長です。異常ではありません。
	洗濯量に対して 洗剤量の表示がおかしい 同じ洗濯量なのに 洗剤量が違うことがある	● 洗剤量は洗濯量で決まります。 化繊など軽いものが多いときは洗剤量が少なく、洗濯物が最初からぬれているときは洗剤量が多く表示される場合がありますが、故障ではありません。
	洗剤量が表示されない	● 「お湯洗い」「おいそぎ」「ダウン」「ドライ」「ふとん・毛布」コースでは、洗濯量測定をしないため洗剤量を表示しません。 洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目 安 ➡ P16～17に従ってください。
	運転が止まってしまった	● つけおき中ではありませんか。 ➡「お湯洗い」コースで40℃つけおきを設定していませんか。 ➡ P22 ➡「槽洗浄」コースでは11時間つけおきをします。 ➡ P37 ● 水温の設定をしていませんか。 ➡ 加熱中は止まっているようにみえます。 ➡**上記以外の場合は、こんな表示がでたら ➡ P47 をご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。**
	電源を入れただけで、 運転が始まった	● 運転途中で停電や電源プラグが抜けた時は運転内容を記憶しています。 ➡ 電源を入れると、続きからスタートします。
	スタートしても給水しない	● スタート直後は、給水を止めています。 ➡ 洗剤投入容器に入れた洗剤が確実に投入されるようにするためです。
	途中で給水する	● 洗濯物を後から追加していませんか。 ● 水位が下がると、自動的に水を補給します。 ● 洗いはじめは給水しながら洗濯します。
	途中で排水する	● 「泥んこ予洗い」コースでは洗いの途中（本洗いの前）に排水します。
	ドアが開かない	● 電源「入」の状態で表示を確認してください。 が点灯、・Lo[が点滅 … チャイルドロックが設定されています。 ➡ チャイルドロックを解除してください。 ➡ P19 ・Lo[が点灯 … ドラム内の水位・水温が高いときはドアがロックされます。 ➡ 電源を切り、排水してください。 ➡ P31
	操作ができない	● チャイルドロックを設定していませんか。 チャイルドロック設定中は、電源の「入」「切」、チャイルドロックの解除以外の操作ができなくなります。 ➡ チャイルドロックを解除してください。 ➡ P19
	洗剤投入容器に柔軟剤が残る 柔軟剤が効かない	● 柔軟剤によっては流れにくいものがあります。2 倍の水でうすめ、よく混ぜてから、洗剤投入容器に入れてください。 ● サイフォン構造のため薄い液や水が残ることがありますが、異常ではありません。 ● 柔軟剤投入部の「MAX ▽」の位置をこえていませんか。「MAX ▽」の位置をこえると、すぐに流れ出てしまいます。

状態		原因／調べるところ
時間	洗濯時間が長い	● 所要時間は、給水量毎分7Lで計算しています。 7L以下であれば、長くなります。 ● 脱水中のアンバランス修正により、時間が長くなることがあります。 ● 排水状態が悪くなっていませんか。 ● 洗剤の入れすぎで泡が大量に発生すると、脱水に時間がかかり、長くなることがあります。
	残時間が急に減る	● 「お湯洗い」コースや「自分流」コースで水温を設定していませんか。 はじめの水温が高いと短時間で設定温度に到達し、時間が急に減ることがあります。
	残時間が止まる	● 「お湯洗い」コースや「自分流」コースで水温を設定していませんか。 はじめの水温が低いと水温を上げるのに時間がかかり、洗濯時間が止まることがあります。
音	脱水時に 異常音がする	● 電源コードやアース線が製品に接触していませんか。 ● 輸送金具を取りはずしましたか。 ➡ P38
臭い	異臭がする	● ゴム部品を使っているため、はじめはゴムの臭いがしますが使用するにつれてなくなります。 ● ドラムに付着している石けんカス、黒カビなどで臭いが発生する場合があります。 処置 • 洗濯槽クリーナーを使用し、「槽洗浄」コースを運転してください。 ➡ P37 ● 排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。 排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。 処置 • 定期的に排水口を掃除してください。 ➡ P36 • 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。
その他	据え付け時や初めて使用するとき 排水ホース接続口から 水が出る	● 工場での検査時の残水で、故障や不良ではありません。
	停電時に ドアが開かない	● 運転中に停電した場合、ドアがロックされたままになります。停電中に洗濯物を取り出す時は、ドラム内の水を排水してからドアロックを解除し、ドアを開けてください。 排水方法 • 排水フィルターカバーを開ける ➡ P35 • 残水を受ける水受けを準備する • 排水管のふたをはずし、水を受ける ① • 水が出なくなったら、排水管にしっかりふたをして元の位置に戻す ②  ロック解除 • 停電時ロック解除レバーを下に引いて、ドアロックを解除する **ご注意** ● 停電時ロック解除レバーは、ドラム内に残水がある時は触らないでください。（水もれの原因） ● 「お湯洗い（60℃）」コース運転中に停電した時は、1時間程度排水およびドアロック解除はしないでください。（やけどの原因）

別売部品

お買い上げの販売店でお求めください。

希望小売価格は 2017 年 3 月現在

部品名	部品コード・品番	希望小売価格
洗濯機トレー 露付きによる床のぬれ防止用に 幅 660 ×奥行 660 ×高さ 32mm（外寸） 	TRAY-5 301 2 4134 21400	7,000 円（税抜）
排水ホース補修キット 排水ホースを延長するときに 長さ 1.34m 	S114755	1,700 円（税抜）
真下排水パイプ 排水口が本体真下中央部に あるときに 	● HW-PIPE-2（商品扱い） ● SW-PIPE-1（サービス扱い） 301 0 3224 00100	1,200 円（税抜）
ホースバンド（排水ホース用） 	301 2 3341 19900	200 円（税抜）
給水栓ジョイント 水もれ防止機能付き ※蛇口の形態によっては、取り付けできないものがあります。 詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	CB-J6 301 0 3470 25000	2,400 円（税抜）
壁ピタ水栓 水もれ防止機能付き ※その他、分岐水栓を数種準備しています。 	CB-L6 301 2 3450 00100	6,500 円（税抜）
給水延長ホース	【1m】301 0 3275 24900 【2m】301 0 3275 25000 【3m】301 0 3275 25100	1,700 円（税抜） 2,200 円（税抜） 2,600 円（税抜）
洗濯槽クリーナー 	SWCLEAN-1 S0480002	2,000 円（税抜）

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

お買い上げの販売店で発行しますので、「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理を依頼されるとき

➡P47に従って調べてください。直らないときは内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉め、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ドラム式電気洗濯機
品番	AQW-FV800E
お買い上げ日	年　月　日
お名前	
ご住所･電話番号	
故障の内容	できるだけ具体的に

◆保証期間中は
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◆保証期間をすぎている場合は
修理により使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

◆保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。

◆修理料金の仕組み 修理料金は､次の内容で構成されています。

技術料	診断､修理､調整､点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張料	ご依頼により､技術者を派遣する費用です。

補修用性能部品の保有期間

電気洗濯機の補修用性能部品の保有期間は､製造打ち切り後6年です。

- 補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品

外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

転居されるときは

転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。

一般家庭用以外の目的でご使用になるとき

理容院、美容院、ホテルなどでの業務用使用、寮や病院など共同使用により 1 日の使用時間が一般家庭に比べて多い場合は、短期間で部品の交換（モータ、軸受などの機構部品）が必要になることがあります。また、耐久年数も減少します。
このようなご使用は、保証期間の対象になりません。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、業務用機器をお使いになることをおすすめします。

仕様

仕様は製品改良のため､予告なく変更することがあります。

種類	ドラム式電気洗濯機
洗濯方式	ドラム式
外形寸法	幅595×奥行625×高さ860 (mm)
製品質量	70 kg
電源	100 V・50 Hz/60 Hz共用
電動機定格消費電力	150 W (50/60 Hz)
電熱装置定格消費電力	600 W
標準洗濯容量(乾燥布質量)	8.0 kg
標準脱水容量(乾燥布質量)	8.0 kg
標準水量	24 L
標準使用水量(標準コース)	57 L
使用水道水圧	0.03～0.8 MPa (0.3～8 kgf/cm^2)

- 品番の（　）内記号は色記号です。
- 待機時消費電力（電源を「切」にした状態の電力）は、0(ゼロ) です。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS（日本工業規格）で規定された布地で乾燥状態の場合です。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談および部品のご購入は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：（365日）9：00～18：30

総合相談窓口	固定電話	0120−880−292
	携帯電話・PHS	0570−040−292（有料）
	FAX	0570−013−790（有料）

家電商品の修理サービスについてのご相談　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～18：30
　　土曜・日曜・祝日　9：00～17：30

修理相談窓口	固定電話	0120−778−292
	携帯電話・PHS	0570−030−292（有料）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。　http://aqua-has.com/privacy/

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。子供が中に閉じ込められる原因になるため、ドアを取り外してから廃棄してください。

愛情点検　長年ご使用の洗濯機の点検を！

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●電源コード・プラグが異常に熱い。 ●ドラムが止まりにくい。 ●水もれがする。（ホース、マジックつぎ手） ●こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。 ●本体にさわるとビリビリ電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、故障や事故の防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて必ず販売店に点検をご相談ください。

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質【注1】を含有しておりません【注2】。
(JIS C 0950「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」に従って表示しております)
【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質
【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。
http://aqua-has.com/j-moss/

アクア 株式会社
〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

品番	AQW-FV800E
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げ店名	電話（　）　−

0020508139
Ⓔ